

NEC

P C 9 8 -

NX

PC98-**NX** SERIES

VersaPro

タブレットPC
(GLシリーズ)

ユーザーズ マニュアル

このパソコンの機能

トラブル解決Q&A

マニュアルの 主な内容

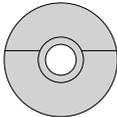
このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



- 『はじめにお読みください』
次の内容について説明しています。
- ・型番の確認
 - ・電源の接続
 - ・Windowsのセットアップ
 - ・マニュアルの使い方



- 『再セットアップマニュアル』
次の内容について説明しています。
- ・再セットアップの方法



- 『アプリケーション CD-ROM/マニュアル CD-ROM』
『ユーザーズマニュアル』、『オンラインマニュアル』が収録されています。利用方法については『はじめにお読みください』をご覧ください。

- 『ユーザーズマニュアル』
次の内容について説明しています。
- ・このパソコンの機能
 - ・トラブル解決Q&A

- 『オンラインマニュアル』
次の内容について説明しています。
- ・パソコンの設定
 - ・添付アプリケーションの概要と追加/削除
 - ・トラブル解決Q&A



はじめに

このマニュアルは、パソコンの取り扱い方法について説明するものです。

このパソコンの機能について知りたい場合は、このマニュアルをご利用ください。

2003年 1月 初版

対象機種

VA93J/GL

853-810602-055-A

凡例

記号

 チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
 メモ	利用の参考となる補足的な情報や、用語について説明しています。
 参照	関連する情報が書かれている所を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定されること、および、物的損害のみの発生が想定されることを示します。
 高温注意	高温による傷害の可能性が想定されることを示します。
	禁止事項を示します。

モデル

モデルの呼び方

CD-ROMモデル	外付けCD-ROMドライブを添付しているモデルのことです。
CD-R/RWモデル	外付けCD-R/RWドライブを添付しているモデルです。
デュアルバンドワイヤレスLAN(無線LAN)モデル	5GHzと2.4GHzの両方の周波数に対応したワイヤレスLAN機能を内蔵しているモデルのことです。

記載内容

- ・本文中に記載されているCD/DVDドライブは、CD-R/RWドライブ、CD-ROMドライブのいずれかを指します。
- ・本文中に記載されているデュアルバンドワイヤレスLAN機能は5GHz(IEEE802.11a)と2.4GHz(IEEE802.11b)の両方の周波数に対応しているワイヤレスLAN機能のことです。
- ・本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、画面上では「BIOS SETUP UTILITY」と表示されます。
- ・イラストや画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本文中に記載の画面は、実際の画面と多少異なることがあります。

安全上の注意

- ・製品を使用する前に必ず添付の『安全にお使いいただくために』と次の注意事項をお読みください。
- ・注意事項を守って製品をご使用ください。

⚠注意



高温注意

タブレットPCを長時間、手に持って使用した場合、低温やけどのおそれがあります。長時間使用する場合はスタンドを使用するか、机などに置いた状態でご使用ください。

タブレットPCを手で持って使用する場合、ファンの部分を持たないようにしてください。内部の温度が上昇するおそれがあります。

⚠注意



タブレットPCの液晶部分に必要以上の力を加えないでください。故障の原因となります。

このマニュアルに出てくる基本的な操作

ソフトウェアキーボードでの操作

Tablet PC 入力パネルやBIOSセットアップユーティリティでのソフトウェアキーボードでの操作は、【 】で囲んで記載しています。

記載例	意味
【F10】をタップする	ソフトウェアキーボードのF10ボタンをタップすることを表しています。

ボタンの操作

パソコン本体のボタンを組みあわせて使う場合は+ でつないで記載しています。

記載例	意味
ファンクションボタン + Escボタン	ファンクションボタンを押しながら、同時にEscボタンを押すことを意味しています。

「スタート」ボタンからの操作

Windowsの「スタート」ボタンから行う操作は、「 」で囲んで記載しています。

記載例	意味
「スタート」すべてのプログラム」「アクセサリ」「システムツール」「システムの復元」をタップする	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを表しています。

「デバイス マネージャ」の開き方

次のようにするとデバイス マネージャを開くことができます。

- 1 「スタート」「コントロールパネル」をタップする
「コントロールパネル」が表示されます。
- 2 「パフォーマンスとメンテナンス」をタップする
「パフォーマンスとメンテナンス」が表示されます。
- 3 「システム」をタップする
「システムのプロパティ」が表示されます。
- 4 「ハードウェア」タブをタップする
- 5 「デバイス マネージャ」をタップする
「デバイス マネージャ」が表示されます。

このパソコンの機能	13
各部の名称と役割	14
本体前面 / 右側面	14
本体背面 / 左側面	15
電源	16
電源状態の確認方法	16
バッテリー駆動	16
節電するには	22
省電力機能	23
通信回線	29
LANで接続する場合	29
デュアルバンドワイヤレスLANで接続する場合	32
携帯電話 / PHSで接続する場合	35
通信環境を切り替える	38
セキュリティ機能	39
盗難を防ぐ(セキュリティケーブル)	39
不正使用やデータの盗難を防ぐ(パスワード)	39
ウイルスや不正侵入を防ぐ	46
タブレット	47
タブレットPC用ペン	47
タブレットの使い方	49
文字入力のしかた	50
タブレットとタブレットPC用ペンの設定をする	53
タブレットを利用するときの注意	54
ボタン	55
ボタンの名称と機能	55
ボタンの設定	56
CD/DVDドライブ	57
使用する前に	57
ドライブとディスクの互換性	59
ディスクのセットのしかたと取り出し方	60
音楽CDの再生	61
CD-RやCD-RWへのデータの書き込み(CD-R/RWモデルのみ)	61
Virtual CD 7を使う	62
CD/DVDドライブを使用するときの注意	62

フロッピーディスクドライブ	63
使用する前に	63
フロッピーディスクのセットのしかたと取り出し方	64
フロッピーディスクドライブを使用するときの注意	64
USBコネクタ	65
USBコネクタについて	65
USB対応機器の取り付け方と取り外し方	66
USB対応機器を使用するときの注意	67
USBマウス	67
コンパクトフラッシュカードスロット	68
コンパクトフラッシュカードのセットのしかたと取り出し方	68
コンパクトフラッシュカードを使用するときの注意	69
メモリスロット	70
このパソコンで使える増設RAMボード	70
増設RAMボードを取り扱うときの注意	70
増設RAMボードの取り付け方と取り外し方	70
表示機能	75
画面表示の調整	75
画面回転機能	76
外部ディスプレイの接続	76
複数ディスプレイ使用時の機能	77
サウンド機能	79
接続できる機器	79
音量の調節	81
音楽CDからのデジタル出力設定	81
サウンドの設定	81
スタンド	82
スタンドを使う	82
BIOSセットアップユーティリティ	88
BIOSセットアップユーティリティの使い方	88
設定項目一覧	91

トラブル解決Q&A	95
トラブルが起こったときは	96
トラブル事例の探し方	96
こんなことも試してみよう	99
パソコンが動かない	101
パソコンの状態がおかしい(煙や異臭、異常な音がしたり、 手でさわれないほど熱い。またはパソコンやケーブル類に 目に見える異常が生じた場合).....	101
Windowsが起動しない	101
使用中にパソコンが動かなくなった	102
電源を入れたが	103
はじめて電源を入れたとき、セットアップの画面が表示されない....	103
電源ランプが点灯しているのに画面が表示されない	104
電源ランプが点灯せず、パソコンが起動しない	104
画面にメッセージが表示されて、Windowsが起動しない	104
「Checking file system on C:」と表示されている	105
「Windows 拡張オプションメニュー」が表示されている	105
「Invalid system disk Replace the disk,...」 「Remove disks or other media. Press any key to restart」 または「Operating System not found」と表示されている	105
画面にカーソルが表示された	105
ピーッというエラー音が出ている	106
電源を切ろうとしたが	107
パソコンの電源が切れない	107
省電力機能	108
復帰の操作をしても、画面が表示されない	108
復帰できない	108
復帰しようとしたら、Windowsのログオン画面が表示された	109
パスワード	110
「パスワードを忘れてしまいましたか？」と表示された	110
パスワードを忘れてしまった	110
バッテリー	112
充電できない	112
フル充電したのにバッテリー充電ランプが点灯する	112
バッテリー充電ランプが点滅している	112
すぐにバッテリー切れになってしまう	113

ディスプレイ	115
ディスプレイに何も表示されない	115
画面が突然真っ暗になった	115
解像度や表示色を変更できない	116
CD/DVDドライブ	117
ディスクが取り出せなくなった	117
周辺機器	118
周辺機器を取り付けたらパソコンが正常に動かなくなった	118
周辺機器を取り付けたが正しく動作しない	119
周辺機器のドライバをインストールできない、 ドライバを更新できない	120
接続した周辺機器のドライブ名がおかしい	120
その他	121
フルスクリーンになったコマンドプロンプトを元に戻したい	121
ハードディスクの空き容量が少なく表示される	121
トラブルチェックシート	122
お問い合わせの前に	122

付録..... 125

仕様一覧	126
VA93J/GL	126
携帯電話 / PHS接続機能	129
内蔵LAN	130
デュアルバンドワイヤレスLAN	130
アフターケアについて	132
保守サービスについて	132
消耗品 / 消耗部品について	132
譲渡 / 廃棄について	133
このパソコンを譲渡するには	133
このパソコンを廃棄するには	134
パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上の データ消去に関するご注意	134
バッテリーパックのリサイクルについて	135

索引.....	137
---------	-----

PART

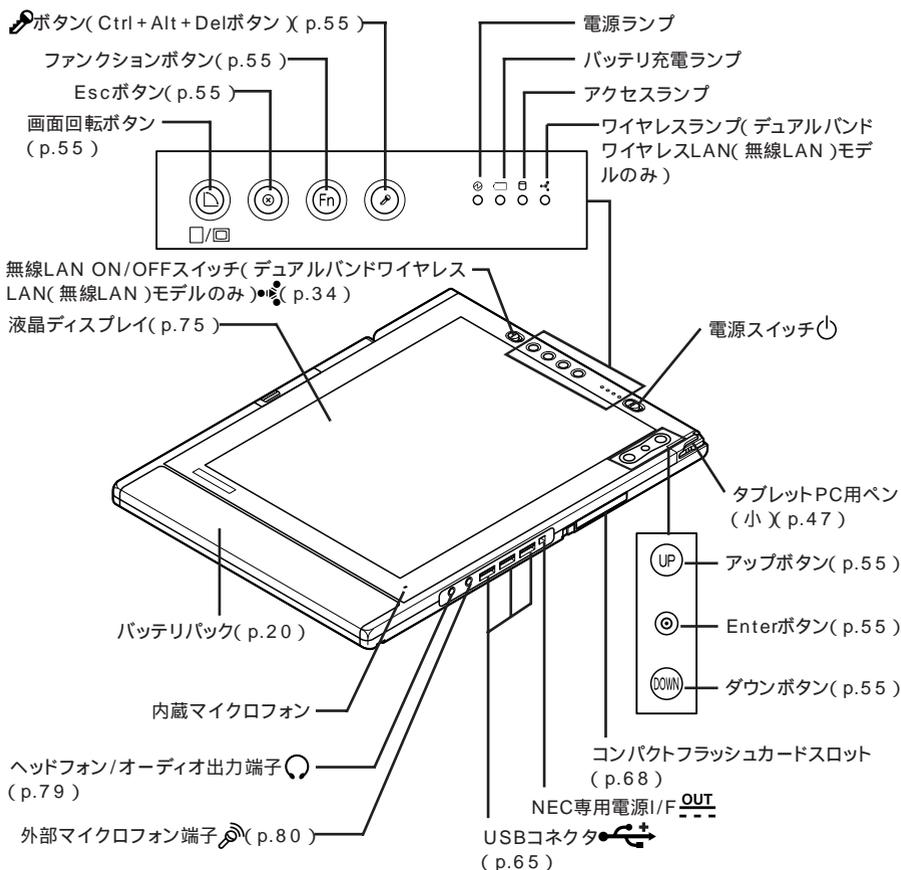
1

このパソコンの機能

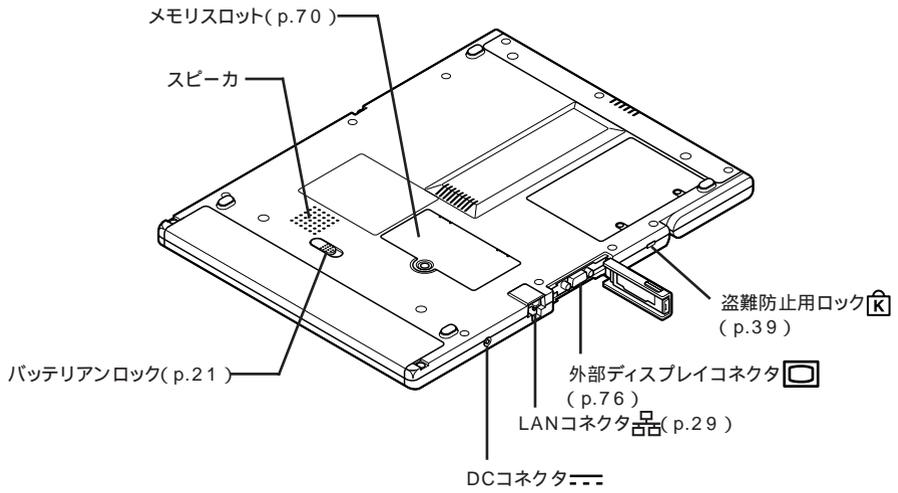
各部の名称と役割

お使いのモデルによって、各部の位置や形状が多少異なる場合があります。

本体前面 / 右側面



本体背面 / 左側面



電源

電源コードをACコンセントに接続しているときは、AC電源でパソコンは駆動しています。ACコンセントから電源コードを抜くとバッテリー駆動に切り替わります。

電源状態の確認方法

電源ランプ (④) (p.14)の色で電源の状態を確認できます。

ランプ		状態
緑	点灯	電源が入っている
	点滅	スタンバイ状態
黄色	点灯	バッテリー容量が少ない
	点滅	スタンバイ状態でバッテリー容量が少ない
オレンジ	点灯	バッテリー容量が残りわずか
	点滅	スタンバイ状態でバッテリー容量が残りわずか
消灯		電源が切れている、または休止状態

バッテリー駆動

ACアダプタをパソコンから取り外すと自動的にバッテリー駆動になります。バッテリーのみでの駆動時間は限られていますので、長時間使用するときには節電の機能を使用することをおすすめします (p.22)。

バッテリーのみでの駆動時間については、PART3の「仕様一覧 (p.126)」をご覧ください。

バッテリー残量の確認

バッテリーのみで使用中は、バッテリーの残量に注意してください。バッテリーの残量は、次の方法で確認できます。

電源ランプで確認する

電源ランプ (④) の状態で、バッテリー残量を確認できます。緑は通常の状態ですが、黄色やオレンジの場合はバッテリー残量が少ない状態です。

画面右下の通知領域で確認する

の上にポインタをあわせると、バッテリー残量が表示されます。また、をダブルタップすると、バッテリーについての詳しい情報が表示されます。

「電源オプションのプロパティ」で確認する

1 「スタート」「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」「電源オプション」をタップする

「電源オプションのプロパティ」が表示されます。

2 「電源メーター」タブをタップする

バッテリーの状態を確認できます。

バッテリーの残量が少なくなったら

バッテリー残量が少なくなった場合は、次のどちらかの操作を行ってください。

ACコンセントが使えないとき

使えるACコンセントが近くにない、ACアダプタを持ってきていないなどの理由で、すぐにACコンセントを使用できないときは、使用中のアプリケーションを終了して、パソコンの電源を切ってください。

ACコンセントが使えるとき

ACアダプタを持っていて、使えるACコンセントが近くにあるときは、パソコンにACアダプタを接続してコンセントから電源を供給してください。バッテリー充電ランプ()が点灯し、バッテリーの充電がはじまります。

メモ

バッテリーを充電しながらパソコンを使用することもできます。

上記の操作をしないで、バッテリー残量が少ないままバッテリーのみで使用していると、再度バッテリー残量が少ないというメッセージが表示され、しばらくすると自動的に休止状態(p.23)になります。

チェック

フロッピーディスクやハードディスクの読み書き中にバッテリー残量がなくなり、パソコンの電源が切れると、作成中のデータや、フロッピーディスク、ハードディスクのデータが失われたり、壊れることがあります。

バッテリー残量が少なくなったときの動作の設定

バッテリーでパソコンを使用中に、バッテリー残量が少なくなった場合や残りわずかなった場合のパソコンの動作を設定できます。

次の手順で設定してください。

- 1 「スタート」 「コントロールパネル」 「パフォーマンスとメンテナンス」 「電源オプション」をタップする
「電源オプションのプロパティ」が表示されます。
- 2 「アラーム」タブをタップする
- 3 バッテリー残量が少ないとき(バッテリー低下アラーム)と、バッテリー残量が残りわずかなとき(バッテリー切れアラーム)のがになっていることを確認する
になっている場合、になっているアラームは動作しません。
- 4 「アラームの動作」をタップする
表示される画面で設定できます。
- 5 「OK」をタップする

バッテリーの充電

バッテリーを充電するときの注意

- ・ バッテリーの充電中は、バッテリーパックをパソコンから取り外さないでください。ショートや接触不良の原因になります。
- ・ できるだけフル充電するようにしてください。バッテリー残量が少ない状態で少量の充放電を繰り返すと、バッテリー残量に誤差が生じることがあります。
- ・ 購入直後や長期間放置したバッテリーは、必ずフル充電してから使用してください。

バッテリー充電のしかた

バッテリーパックをパソコンに取り付けて、ACアダプタをACコンセントに接続してください。自動的にバッテリーの充電がはじまります。

バッテリーが充電中かどうかは、バッテリー充電ランプ()で確認できます。

ランプ		状態
オレンジ	点灯	バッテリー充電中
	点滅	バッテリーのエラー
消灯		ACアダプタが接続されていない、または充電完了

チェック

バッテリー充電ランプがオレンジ色に点滅しているときは、バッテリーパックを取り付けなおしてください。

バッテリーリフレッシュ

バッテリーリフレッシュは、一時的に低下したバッテリーの性能を回復させるために行います。次のようなときには、バッテリーリフレッシュを実行してください。

- ・ バッテリーでの駆動時間が以前よりも短くなったとき
- ・ 購入直後や、長期間の放置でバッテリーの性能が一時的に低下したとき
- ・ バッテリーの残量表示に誤差が生じているとき



参照

バッテリーリフレッシュ PART2の「バッテリー」の「すぐにバッテリー切れになってしまう」(p.113)

バッテリーのみで長時間使用するには



チェック

バッテリーパックは消耗品です。充放電を繰り返すと充電能力が低下します。

携帯して外に持ち出したときなどは、バッテリーのみで使用するようになります。上手に節電しながら使うことで、より長い時間バッテリーのみで使用できるようになります。

省電力機能を上手に使う

省電力機能を使うと、一定時間パソコンを操作しなかったときに自動的に消費電力を抑えることができます。操作しない時間が長く続いたときは自動的にパソコンの電源を切ることもできます。使い方にあわせて設定することで、バッテリー駆動時間を長くすることができます。



参照

省電力機能を使う 「節電するには」(p.22)

バッテリーパックの交換

使用できる交換用バッテリーパック

このパソコンのバッテリースロットに取り付けることのできる交換用のバッテリーパックは、次の表のとおりです。

品名	型番
リチウムイオンバッテリー(M)	PC-VP-TP06

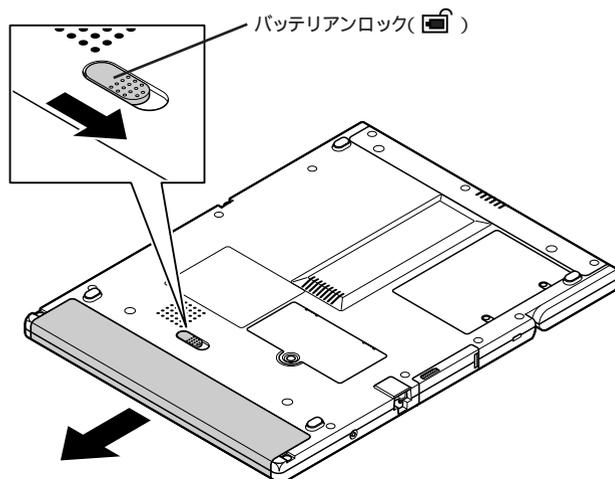
バッテリーパックの交換をするときの注意

- ・ バッテリーパックの交換を行う際は、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- ・ バッテリーやバッテリースロットの端子部分には絶対に触れないでください。接触不良の原因となります。
- ・ 休止状態またはスタンバイ状態のままにバッテリーパックを交換しないでください。バッテリーパックの交換を行うときは、休止状態またはスタンバイ状態を解除してパソコンの電源を切ってください。
- ・ 特に必要でない限り、バッテリーパックを交換しないでください。故障の原因となります。

バッテリーパックの交換のしかた

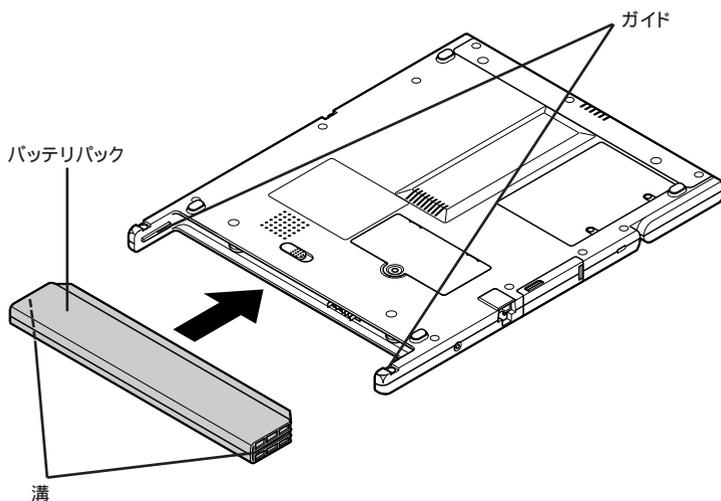
- 1 パソコンの電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いて、ACアダプタをパソコンから取り外す
- 3 パソコンを裏返す

- 4 バッテリーアンロック ()を図の矢印の方向にスライドさせたまま、バッテリーパックを外側にスライドして取り外す



- 5 パソコンにバッテリーパックを取り付ける

バッテリーパックの両側の溝と本体のガイドを合わせて、矢印の方向にゆっくりとスライドさせ、カチッと音がするまでしっかり取り付けてください。取り付けるときは、バッテリーパックの向きに注意してください。



たとえばこんな節電方法

パソコンを外出先などに携帯したときは、いつでもACアダプタを使って電源をとれるとはかぎりません。バッテリーだけで使用する機会が増えるはずですが、でも、バッテリーで使用できる時間はかぎられています。かぎられたバッテリー容量を有効に使うためにも上手に節電してみましょう。

省電力機能を使う

何も操作をしないまま一定時間が経過すると、自動的にディスプレイやハードディスクの電源を切ったり、パソコン本体の電源を切って消費電力を節約する機能です。このような機能を省電力機能と呼んでいます。パソコンの電源を入れたまま放置してしまったときなどは、自動的に節電をはじめてくれるので便利な機能です。節電が始まるまでの時間を設定したり、ボタンを押す操作などで節電をはじめるように設定することもできます。



参照

省電力機能の設定 「省電力機能」(p.23)

ディスプレイの輝度を下げる

液晶ディスプレイの輝度を下げることで節電効果もあります。使用環境によっては輝度を下げたほうが見やすかったり、ということもありますので、こまめに調節してみましょう。



参照

輝度の調整 「表示機能」の「画面表示の調整」(p.75)

省電力機能

省電力状態とは

省電力機能によってパソコンが電力を節約している状態を、省電力状態と呼びます。省電力状態には、「スタンバイ状態」と「休止状態」があります。また、これらをまとめて「スリープ状態」と呼ぶ場合もあります。

スタンバイ状態

パソコンの液晶ディスプレイやハードディスクなどの電源を切り、消費電力を節約している状態です。パソコンの電源は完全には切れていません。作業中のデータがメモリに保存されているため、わずかに電力を消費しますが、スタンバイ状態を解除すると、すぐに作業の続きをはじめることができます。少しの間、作業を中断する場合などに便利です。

休止状態

パソコンの状態や作業中のデータをハードディスクに保存して、Windowsを終了せずにパソコンの電源を切っている状態です。休止状態を解除すると、休止状態にする前の状態から作業を続けることができます。Windowsを終了していないので、Windowsの起動にかかる時間は短くなります。



メモ

アプリケーションによっては、スタンバイ状態のことを「サスペンド」、休止状態のことを「ハイバネーション」、省電力状態から復帰することを「レジューム」と呼ぶことがあります。

省電力状態の確認

パソコンが省電力状態になっているかどうかは、電源ランプ (🔌) で確認できます。

ランプ	状態
緑点滅	スタンバイ状態
黄色点滅	スタンバイ状態でバッテリー残量が少ない
オレンジ点滅	スタンバイ状態でバッテリー残量が残りがわずか
消灯	電源が切れている、または休止状態

購入時の省電力機能の設定

一定時間何も操作を行わなかった場合、自動的に省電力状態になります。購入時には次のような時間に設定してあります。使用状況にあわせて設定を変更してください。

状態	ACアダプタ接続時	バッテリー駆動時
ディスプレイの電源が切れる	25分後	2分後
ハードディスクの電源が切れる	-	3分後
スタンバイ状態になる	-	5分後
休止状態になる	-	15分後



参照

省電力機能の設定をする 「省電力機能の設定」(p.27)

省電力機能を利用するときの注意

省電力機能を利用できないとき

- ・ 次のようなときには、省電力機能を使用しないでください。パソコンが正常に動かなくなったり、正しく復帰できなくなることがあります。
 - ハードディスクやフロッピーディスク、CD-ROMなどのディスクの読み書きをしているとき
 - 省電力状態に対応していないアプリケーションや周辺機器を使用しているとき
 - 音声または動画ファイルを再生しているとき
 - プリンタへ出力しているとき
 - LANまたはワイヤレスLANでファイルコピーなどの通信作業をしているとき
 - 通信用のアプリケーションを使用しているとき
 - 電話回線を使って通信しているとき
 - 「システムのプロパティ」の画面が表示されているとき
 - Windowsの起動 / 終了処理中
- ・ NEC製プリンタのMultiWriterシリーズ、MultiImpactシリーズでPrintAgentをお使いの場合は、スタンバイ機能が正常に動作しないことがあります。その場合は、「省電力機能の設定」(p.27)をご覧ください、「システムスタンバイ」を「なし」に設定してください。

省電力状態にするときの注意

- ・ 省電力状態への移行中にフロッピーディスクやCD-ROMなどのディスク、コンパクトフラッシュカードの入れ替えを行わないでください。
- ・ 省電力状態にする前に、フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクを取り出してください。
- ・ 省電力状態のときに、コンパクトフラッシュカードの入れ替えや周辺機器の取り付け / 取り外しを行わないでください。
- ・ 休止状態を利用する場合、ハードディスクにパソコンのメモリ容量分の空き容量が必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。確認のしかたについては詳しくは、『オンラインマニュアル』「トラブル解決Q&A」『省電力機能』「スタンバイ状態(サスペンド)または休止状態(ハイバネーション)にできない」をご覧ください。

省電力状態から復帰するときの注意

- ・ 省電力状態から復帰するときにパスワードを入力するように設定している場合、パスワード入力画面が表示されるので、パスワードを入力してください。
- ・ タイマやLANなどでスタンバイ状態から復帰した場合、液晶ディスプレイに何も表示されないことがあります。その場合は、タブレットPC用ペンで液晶ディスプレイをタップしてください。
- ・ 省電力状態から復帰後、デバイスの警告メッセージが表示される場合があります。その場合は「OK」をタップしてください。警告が発生したデバイスは、そのまま使用できます。
- ・ 省電力状態にしてからすぐに復帰させたいときは、パソコンに負担がかからないよう、省電力状態になった後、約5秒以上たってから操作してください。

省電力状態にする

スタンバイ状態にする

購入時の状態では、バッテリー駆動時に一定時間以上タブレットからの入力やボタン操作がないと、自動的にスタンバイ状態になります。

また、次の手順でスタンバイ状態にすることもできます。

1 「スタート」「終了オプション」をタップする

2 「スタンバイ」をタップする



次の操作でスタンバイ状態になるように設定することもできます。

- ・ 電源スイッチをスライドする



省電力機能の設定 「省電力機能の設定」(p.27)

休止状態にする

購入時の状態では、バッテリー駆動時に一定時間以上タブレットからの入力やボタン操作がないと、自動的に休止状態になります。また、次の手順で休止状態にすることができます。

- 1 「スタート」「終了オプション」をタップする
- 2 ポインタが動かせる距離で、タブレットPC用ペンを素早く数回振る
「Tablet PC 入力パネル」が表示されます。
- 3 「キーボード」をタップする
- 4 【h】をタップする



メモ

次の操作で休止状態になるように設定することもできます。

- ・ 電源スイッチをスライドする



参照

省電力機能の設定 「省電力機能の設定」(p.27)

省電力状態から復帰する

スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態から復帰するには、次の操作を行ってください。

- 1 電源スイッチをスライドする
ログオン画面が表示されます。
- 2 ログオンしたいユーザー名をタップする

上記以外にも次の方法でスタンバイ状態から復帰できます。

タスクスケジューラを使って復帰する

タスクスケジューラを使い、時刻を指定して復帰できます。



参照

タスクスケジューラの使い方 Windowsのヘルプ

休止状態から復帰する

休止状態から復帰するには、次の操作を行ってください。

- 1 電源スイッチをスライドする
「Windows を再開しています...」と表示された後、ログオン画面が表示されます。
- 2 ログオンしたいユーザー名をタップする
休止状態にする前の状態でWindowsが起動します。

省電力機能の設定

省電力機能の設定は、「コントロールパネル」の「電源オプションのプロパティ」の画面で行います。省電力機能が働くまでの時間や、スタンバイ状態や休止状態にするための操作を設定することができます。

チェック

省電力機能の設定を行う場合は、コンピュータの管理者権限を持つユーザーアカウントでログオンしてください。

省電力機能が働くまでの時間を設定する

- 1 「スタート」「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」「電源オプション」をタップする
「電源オプションのプロパティ」が表示されます。
- 2 「電源設定」タブをタップする
- 3 次の項目について、時間を設定する

状態	説明
モニタの電源を切る	ここで指定した時間、何も入力がなかった場合、液晶ディスプレイの電源が切れます。
ハードディスクの電源を切る	ここで指定した時間、ハードディスクへのアクセスがなかった場合、ハードディスクの電源が切れます。
システム スタンバイ	ここで指定した時間、何も入力がなかった場合、自動的にパソコンがスタンバイ状態になります。
システム休止状態	ここで指定した時間、何も入力がなかった場合、自動的にパソコンが休止状態になります。

- 4 「適用」をタップし、「OK」をタップする

休止状態やスタンバイ状態にする操作を設定する

- 1 「スタート」 「コントロールパネル」 「パフォーマンスとメンテナンス」 「電源オプション」をタップする
「電源オプションのプロパティ」が表示されます。
- 2 「詳細設定」タブをタップする
- 3 「電源ボタン」欄の「コンピュータの電源ボタンを押したとき」で、パソコンの電源スイッチをスライドしたときの動作を設定する

状態	説明
何もしない	その操作をしても、何もしません
入力を求める	「コンピュータの電源を切る」の画面が表示されます。動作を決定してください。
スタンバイ	スタンバイ状態にします
休止状態	休止状態にします
シャットダウン	Windowsを終了して、パソコンの電源を切ります

チェック

休止状態を利用する場合は、「休止状態」タブをタップして、「休止状態を有効にする」がになっていることを確認してください。

- 4 「適用」をタップして、「OK」をタップする

通信回線

LANで接続する場合

LANコネクタにADSLモデムやCATVモデムを接続してブロードバンドでインターネットに接続したり、ネットワークを作って複数のパソコンでプリンタやファイルを共有することができます。また、ブロードバンドルータを使用すると、複数のパソコンから同時にインターネットを使用できます。

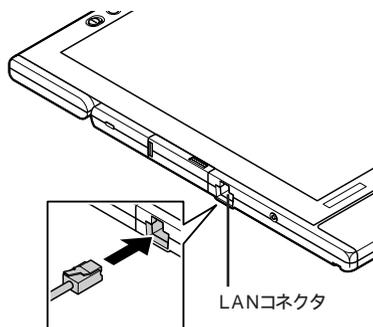
LANケーブルを接続する

接続するときの注意

- ・ LANケーブルは別売です。
- ・ 接続するLANや機器の規格にあったLANケーブルを用意してください。
- ・ 100BASE-TXでLANに接続するためには、カテゴリ5のLANケーブルが必要です。
- ・ LANケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。目的によって使用するケーブルが違うので、購入の際は注意してください。どちらのケーブルが必要かは、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。

接続のしかた

- 1 パソコンの電源を切る
- 2 LANケーブルのプラグを向きに注意して、パソコンのLANコネクタ(品)に接続する



- 3 LANケーブルのもう一方のプラグを、ADSLモデムやハブなどの機器のLANコネクタに接続する
詳しくは、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。

ネットワークの設定

ADSLモデムやCATVモデム、ルータを使用してインターネットに接続するための設定については、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。
ネットワークの設定は、次の方法で行います。

- 1 「スタート」 「コントロールパネル」 「ネットワークとインターネット接続」 「ホームネットワークまたは小規模オフィスのネットワークをセットアップまたは変更する」 をタップする
「ネットワークセットアップウィザード」が表示されます。
- 2 画面の説明を読み、設定を行う



参照

LANの設定について 『オンラインマニュアル』 「パソコンの設定」 「LAN(ローカルエリアネットワーク)」



メモ

ネットワークの設定を行うと、「マイネットワーク」にお使いのパソコンの名前が表示されます。「スタート」 「マイコンピュータ」の「マイネットワーク」をタップして確認してください。

リモートパワーオン機能の設定

このパソコンをネットワークに接続している場合、リモートパワーオン機能を設定することで、離れたところにある管理者パソコンから次の操作ができるようになります。

- ・ このパソコンの電源を入れる
- ・ スタンバイ状態や休止状態から復帰させる

詳しい設定方法については、『オンラインマニュアル』「パソコンの設定」LAN(ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。

チェック

- ・ リモートパワーオン機能の設定を行った場合は、購入時の設定で使う場合にくらべて、パソコンのバッテリーの消費量が大きくなります。バッテリーのみで利用できる時間を優先してする場合は、リモートパワーオン機能の設定は行わずに購入時の設定で使用してください。
- ・ リモートパワーオン機能を使用する場合は、必ずパソコンにACアダプタを取り付けてコンセントからの電源で使用してください。

LANを使用するときの注意

- ・ ネットワークを使用している間はLANケーブルをパソコンや機器から取り外さないでください。
- ・ ネットワークとの通信中は、パソコンを休止状態やスタンバイ状態にしないでください。
- ・ ネットワーク通信をすると、バッテリーのみで使用可能な時間が短くなります。長時間の通信をするときは、パソコンにACアダプタを接続しコンセントからの電源で使用してください。

デュアルバンドワイヤレスLANで接続する場合

本機能はデュアルバンドワイヤレスLAN(無線LAN)モデルのみの機能です。5GHz(IEEE802.11a)または2.4GHz(IEEE802.11b)に対応したADSLモデムなどの通信機器とワイヤレスLAN機能で接続すれば、パソコンにケーブルをつなぐことなくインターネットに接続したりネットワークに接続できるようになります。

チェック

- ・ワイヤレスLAN機能をお使いになる前に、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- ・ワイヤレスLAN機能を使用したネットワークへの接続には、別売の無線LANアクセスポイントやレジデンシャルゲートウェイなどが必要です。

接続できる機器

- ・「IEEE802.11a」,または「IEEE802.11b」に対応している機器とワイヤレスLAN機能で接続できます。ただし、機器によっては接続できないこともあるので、機器を購入する前にメーカーや販売店に確認してください。
- ・このパソコンに接続できるNEC製のワイヤレスLAN対応機器については、NECの企業向けパソコン関連総合サイト「NEC8番街」をご覧ください。

<http://nec8.com/>

「サポート情報」「商品情報検索」「商品情報」「商品の適合検索」

通信機能とセキュリティ

通信できる距離

ワイヤレスLAN機能では、このパソコンと相手の機器との間に壁などの障害物がなければ、70m程度まで通信ができます。ただし、家庭やオフィスには通信の障害となるものがあるため、通信できる距離はもっと短くなります。

通信速度

規格上、5GHzワイヤレスLAN接続時は54Mbps、2.4GHzワイヤレスLAN接続時は11Mbpsが最大の通信速度となりますが、一般にはその50%以下の速度で通信が行われます。

通信速度は、パソコンと相手の機器の間の電波の状態や距離によっても変化します。また、通信状態が悪くなって通信が途切れそうになると、通信が途切れないようにするために、自動的に通信速度を落とす機能があります。

現在、どのくらいの速度で通信しているかは、画面右下の通知領域のをタップすると表示される画面で確認できます。

メモ

安定した通信をするために次のことに注意してください。

- ・ パソコンと相手の機器との距離は、できるだけ近くする。
- ・ 通信中は近くで電子レンジを使わない。
- ・ 近くにBluetooth™対応機器がある場合は、Bluetooth™機能をオフにする。

ワイヤレスLAN機能のセキュリティ

このパソコンのワイヤレスLAN機能は、「64bitWEP機能」、「128bitWEP機能」、「152bitWEP機能」に対応しています。「WEP機能」に対応していることで、ワイヤレスLAN機能での通信を盗聴されたり、関係のないパソコンや機器と接続することを防ぐことができます。

チェック

- ・ 「152bitWEP機能」は5GHzワイヤレスLAN接続時のみ使用可能です。
- ・ WEP機能を使用するには、通信する相手の機器もWEP機能に対応している必要があります。

参照

WEP機能の設定 『オンラインマニュアル』「パソコンの設定」「デュアルバンドワイヤレスLAN」「ワイヤレスLANの設定」

ワイヤレスLAN機能のオン/オフ

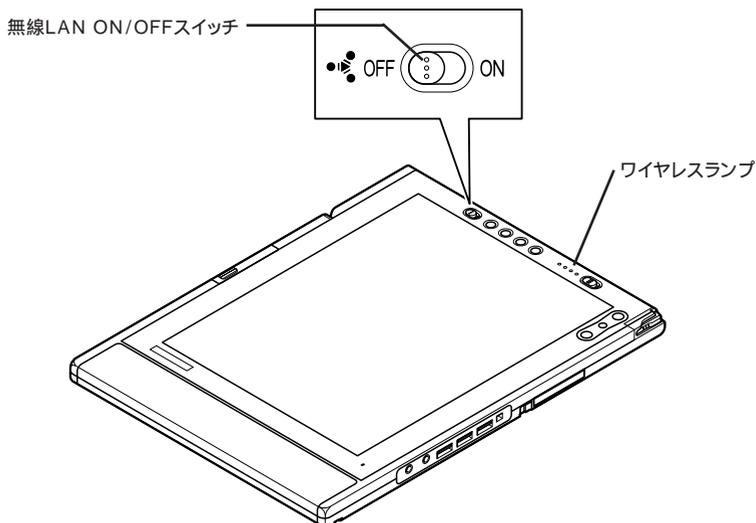
他の機器に影響をあたえる場合や、ワイヤレスLAN機能を使用しないときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

ワイヤレスLAN機能のオン/オフの状態は、パソコン本体のワイヤレスランプ()で確認できます。緑に点灯しているときがオンの状態です。オフのときは消灯しています。

ワイヤレスLAN機能をオン/オフするには、次の方法があります。

無線LAN ON/OFFスイッチで切り替える

無線LAN ON/OFFスイッチを右にスライドさせるとオンになり、左にスライドさせるとオフになります。



「ワイヤレスクライアントマネージャ」で切り替える

オフにする

画面右下の通知領域の  をプレス アンド ホールドし、「RF送信回路」「オフ」をタップすると、ワイヤレスLAN機能がオフになります。

オンにする

画面右下の通知領域の  をプレス アンド ホールドし、「RF送信回路」「オン」をタップすると、ワイヤレスLAN機能がオンになります。

通知領域に  がいない場合は、「スタート」ボタン「プログラム」「ワイヤレスクライアントマネージャ」をタップしてください。

ワイヤレスLAN機能の設定を行う

5GHzワイヤレスLAN、または2.4GHzワイヤレスLANへの接続のしかたや設定について詳しくは、『オンラインマニュアル』「パソコンの設定」「デュアルバンドワイヤレスLAN」をご覧ください。

ワイヤレスLANを使用するときの注意

- ・ ネットワークとの通信中は、パソコンを休止状態やスタンバイ状態にしないでください。
- ・ ネットワーク通信をすると、バッテリーのみで使用可能な時間が短くなります。長時間の通信をするときは、パソコンにACアダプタを接続しコンセントからの電源で使用してください。

携帯電話 / PHSで接続する場合

携帯電話やPHSを接続して、外出先や屋外でインターネットに接続できます。携帯電話やPHSを接続するには、別売のケーブルが必要です。

接続に必要なケーブル

- ・ 携帯電話(DoPa/PDC)接続ケーブル(PC-VP-WK05)
- ・ cdmaOne接続ケーブル(PC-VP-WK06)
- ・ PHS(NTTドコモ / アステル)接続ケーブル(PC-VP-WK07)
- ・ PHS(DDIポケット)接続ケーブル(PC-VP-WK08)



メモ

接続できる携帯電話またはPHSについては、NECの企業向けパソコン総合サイト「NEC8番街」をご覧ください。

<http://nec8.com/>

「サポート情報」「商品情報検索」「商品情報」「商品の適合検索」

携帯電話またはPHSに接続する



チェック

携帯電話またはPHSに接続する前に、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。

1 接続ケーブルの携帯電話またはPHS側のプラグを、携帯電話またはPHSに接続する

プラグの向きに注意し、カチッと音がして止まるまで軽く押し込んでください。

2 接続ケーブルのUSBプラグを、このパソコンのUSBコネクタ()に接続する



参照

USBコネクタへの接続 「USBコネクタ」(p.65)

携帯電話 / PHSを使うための設定

携帯電話またはPHSを使って接続するときは設定が必要です。『オンラインマニュアル』「パソコンの設定」「携帯電話 / PHS接続機能」をご覧ください。



チェック

携帯電話やPHSを接続するUSBコネクタを変更した場合、新しいモデムとして認識されます。このようなときは、接続先のプロパティで「接続の方法」を変更するか、新しいモデムを指定した接続先を作成してください。

データ通信を行うときの設定

通常のデータ通信のほかに次のようなデータ通信ができます。

 チェック

アクセスポイントが利用するデータ通信に対応していることを確認してください。対応していない場合は、接続できなかったり正常に通信できないことがあります。

データ通信の種類		必要な接続ケーブル	ダイヤルアップ 接続の設定
cdmaOne ¹		cdmaOne接続ケーブル (PC-VP-WK06)	特別な設定は必要ありません。
NTTドコモ	DoPaサービス (パケット通信サービス)	携帯電話 (DoPa/PDC) 接続ケーブル (PC-VP-WK05)	電話番号の最後に「## 02」を追加する ²
	PHS (64K対応機種)	携帯電話 (NTTドコモ/アステル) 接続ケーブル (PC-VP-WK07)	電話番号の最後に「## 4」を追加する
	ドッチーモ (PIAFS64K機種) ³	携帯電話 (DoPa/PDC) 接続ケーブル (PC-VP-WK05)	電話番号の最後に「## 3」を追加する ⁴
	ドッチーモ (PIAFS32K機種) ³		
DDIポケット	PIAFS32K 対応電話機	PHS(DDIポケット) 接続ケーブル (PC-VP-WK08)	電話番号の最後に「## 4」を追加する ⁵
	H(エッジ)		

- 1: データ通信を行うには、データ通信モードを「Async」に設定する必要があります。Packet通信モードを利用する場合は、データ通信モードを「Packet」に変更してください。データ通信モードの切り替えについては、cdmaOneの取り扱い説明書をご覧ください。
- 2: DoPaサービスを利用せずに9600bpsデータ通信を行う場合、この設定は必要ありません。
- 3: ドッチーモでPIAFS通信を行う場合は、ドッチーモの待ち受けモードを「PHS専用」に切りかえる必要があります。
- 4: NTTドコモ、アステル、DDIポケットのPHSをお使いの場合は、この設定は必要ありません。
- 5: 一部の地域では64Kbpsでのデータ通信ができないことがあります。32Kbpsで接続されます。また、次のような場合にも、64Kbpsでなく、32Kbpsで接続されることがあります。
 - ・電話番号の最後に「##4」を追加しなかった場合
 - ・回線が混雑している場合

通信環境を切り替える

パソコンをさまざまな場所に持ち歩いていると、インターネットに接続するときや会社内のLANに接続するときなど、いろいろな接続先を設定することが多くなります。たとえば、会社では社内のLANに接続し、出張先ではPHSや携帯電話を使って接続。休日はADSL回線でインターネットを楽しんだり、外出先でワイヤレスLANを利用する、といったようにいろいろな通信環境を利用するときは、それぞれにあわせた設定を作り、切り替えて使用することになります。

「ネット簡単切替ツール」の利用

いくつもの接続設定を使用環境に合わせて切り替えるときは「ネット簡単切替ツール」が便利です。あらかじめ接続先にあわせた設定を作成して「ネット簡単切替ツール」に登録しておけば、簡単な操作で切り替えられるようになります。

「ネット簡単切替ツール」は購入時にはインストールされていません。『オンラインマニュアル』「アプリケーションの概要と追加/削除」をご覧ください、インストールを行ってください。



参照

「ネット簡単切替ツール」の使い方 「スタート」すべてのプログラム」ネット簡単切替ツールヘルプ」

セキュリティ機能

このパソコンの不正使用、パソコン本体とデータの盗難、またはパソコンの起動に必要なファイルへのウイルス感染の防止方法を説明します。

盗難を防ぐ(セキュリティケーブル)

このパソコンの盗難防止用ロック( p.15)に別売のセキュリティケーブル(PK-SC/CA02)を取り付け、盗難を防ぐことができます。詳しくは、セキュリティケーブルのマニュアルをご覧ください。

チェック

当社製セキュリティケーブル(PK-SC/CA01)は、このパソコンでは使用できません。

不正使用やデータの盗難を防ぐ(パスワード)

パスワードには、Windowsで設定するパスワードとBIOSで設定するパスワードがあります。Windowsで設定するパスワードでは、起動時にパスワードを入力しないとWindowsを起動できないように設定できます。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

BIOSで設定するパスワードでは、パソコン起動時やBIOS設定変更時にパスワードの入力が必要になるように設定したり、内蔵のハードディスクにパスワードを設定しておくことができます。詳しくは、次の「起動時やBIOS設定変更時のパスワード」または「ハードディスクのパスワード」(p.43)をご覧ください。

起動時やBIOS設定変更時のパスワード

パソコンにパスワードを設定することで、BIOSセットアップユーティリティを起動するときにパスワードの入力が必要になり、入力したパスワードによって設定可能な項目が制限されます。また、パソコンの電源を入れるときにパスワードの入力が必要な設定にすると、パソコンが不正に使用されることを防げます。

チェック

- ・ 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは再セットアップしても解除できません。パスワードは忘れないように控えて、人目に付かないところに保管しておくことをおすすめします。
- ・ ご購入元、NEC フィールディングなどにパソコンの修理を依頼される際には、パスワードを解除しておいてください。

パスワードの種類

設定できるパスワードには、「スーパーバイザパスワード」と「ユーザパスワード」があります。このパソコンを複数のユーザーで使用する場合に、管理者以外のユーザーがBIOSの設定を自由に変更できないようにしたり、パスワードを知らない人が不正にパソコンを起動してデータ盗難などを行うのを防ぐことができます。

スーパーバイザパスワード

管理者用のパスワードです。スーパーバイザパスワードを入力してBIOSセットアップユーティリティを起動すると、すべての項目が設定可能になります。スーパーバイザパスワードを入力せずにBIOSセットアップユーティリティを起動した場合は、設定できる項目が次の項目に制限されます。

- ・「標準設定」メニューの表示言語、時刻、バッテリーリフレッシュ
- ・「拡張設定」のIntel SpeedStep テクノロジー
- ・「セキュリティ」メニューのユーザパスワードの設定
- ・「デフォルト値をロード」以外の項目

ユーザパスワード

使用者用のパスワードです。ユーザパスワードを設定するには、スーパーバイザパスワードが設定されている必要があります。ユーザパスワードを入力してBIOSセットアップユーティリティを起動した場合、設定できる項目は上記の通りです。

チェック

スーパーバイザパスワードのみを設定している場合、パスワード入力画面でパスワードを入力せずに【ENT】をタップして、WindowsやBIOSセットアップユーティリティを起動することができます。パソコンの不正使用を防止するためには、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードの両方を設定してください。

パスワードの設定 / 変更をする

- 1 BIOSセットアップユーティリティを起動する(p.88)
- 2 タブレットPC用ペンで液晶ディスプレイをタップする
ソフトウェアキーボードが表示されます。
- 3 「セキュリティ(Security)」メニューを選択する
- 4 「スーパーバイザパスワードの設定(Change Supervisor Password)」または「ユーザパスワードの設定(Change User Password)」を選択し、【ENT】をタップする
新しいパスワードの入力画面が表示されます。

5 【FnA】をタップする

ソフトウェアキーボードが文字入力モードに切り替わります。

6 パスワードを入力して【ENT】をタップする

パスワードの確認画面が表示されます。

チェック

- ・ パスワードの文字列を6文字以内で設定してください。使用できる文字は、半角英字のA～Z(大文字/小文字の区別はありません)と半角数字の0～9だけです。
- ・ スーパーバイザパスワードを設定していないと、ユーザパスワードを設定することはできません。

7 手順6で入力したパスワードをもう一度入力して【ENT】をタップする

8 「パスワードを設定しました。(Password installed)」の画面が表示されるので、【ENT】をタップする

9 設定を保存して、BIOSセットアップユーティリティを終了する

チェック

設定したパスワードを忘れないようにしてください。パスワードはパソコンを再セットアップしても解除できません。パスワードは忘れないように控えておくことをおすすめします。

パスワードを解除する

「パスワードの設定 / 変更をする」の手順6で、なにも入力しないで【ENT】をタップすると、パスワードが解除されます。

パスワードを入力するタイミング

パスワードを設定しておく、BIOSセットアップユーティリティ起動時にパスワードを入力するように要求されます。次の手順で、パソコン起動時にパスワードを入力するように設定することもできます。

1 BIOSセットアップユーティリティを起動する(p.88)

2 「セキュリティ(Security)」の「パスワードチェック(Boot Password Required)」を選択し、【ENT】をタップする

3 「常時(Yes)」を選択し、【ENT】をタップする

4 設定を保存して、BIOSセットアップユーティリティを終了する

パスワードを設定しているときの電源の入れ方

パソコン起動時にパスワードの入力が必要な設定にしているときは、次の手順で電源を入れてください。

1 パソコンの電源を入れる

次のようなパスワードを入力する画面が表示されます。

Enter CURRENT Password:

2 タブレットPC用ペンで画面をタップする

ソフトウェアキーボードが表示されます。

3 【FnA】をタップする

文字入力用のソフトウェアキーボードが表示されます。

4 ソフトウェアキーボードで設定したパスワードを入力し【ENT】をタップする

正しいパスワードを入力すると、Windowsが起動します。

チェック

- ・ 間違ったパスワードを入力すると警告が表示されます。3回間違ったパスワードを入力すると、パスワードの入力ができなくなります。その場合は、一度パソコンの電源を切って、手順1からやりなおしてください。
- ・ スーパーバイザパスワードとユーザパスワードの両方を設定している場合は、どちらのパスワードを入力してもかまいません。

ハードディスクのパスワード

ハードディスクにパスワードを設定することで、このパソコンからハードディスクを抜き取り、ほかのパソコンに移し替えて不正にハードディスクの中身を読み取られるのを防ぐことができます。

● チェック

- ・ ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、ロックは解除できません。お客様ご自身で作成されたデータなどは二度と使用できなくなります。また、ハードディスクを有償で交換することになります。ハードディスクのパスワードは忘れないよう十分注意してください。
- ・ ハードディスクのパスワードは、他人が不正にパソコンを起動できないようにするものではなく、ハードディスクをこのパソコンから抜き取られて他のパソコンで使用されるのを防ぐものです。ハードディスクのパスワードだけでは十分にパソコンの不正使用を防止できませんので、ほかのセキュリティ機能と併用してください。

パスワードの種類

マスタパスワード

ロック解除専用のパスワードです。ハードディスクのパスワードを最初に設定するときに入力します。

ユーザパスワード

ハードディスク認証を行うために設定します。ユーザパスワードを設定することで、このパソコン以外でのハードディスクの不正使用を防止できます。

● チェック

ユーザパスワードを設定しないとハードディスクのセキュリティは有効になりません。また、ハードディスクのロック解除のためにもマスタパスワードとユーザパスワードの両方を設定してください。

パスワードの設定/変更をする

ハードディスクのマスタパスワード、ユーザパスワードの設定はBIOSセットアップユーティリティで行います。

● チェック

- ・ ハードディスクのパスワードの設定や変更を行う場合は、必ず「マスタパスワード」→「ユーザパスワード」の順に設定してください。
- ・ マスタパスワードは、忘れないように控えておくことをおすすめします。マスタパスワードを忘れてしまうと、パスワードの変更およびハードディスクのロックの解除ができなくなります。

- 1 BIOSセットアップユーティリティを起動する(p.88)
 - 2 タブレットPC用ペンで液晶ディスプレイをタップする
ソフトウェアキーボードが表示されます。
 - 3 【FnA】をタップする
ソフトウェアキーボードが文字入力モードに切り替わります。
 - 4 「セキュリティ(Security)」メニューを選ぶ
 - 5 HDDマスタパスワード、HDDユーザパスワードの順にそれぞれ次の手順で設定する
 - 6 「HDDマスタパスワードの設定(Set Master HDDs Security Password)」または「HDDユーザパスワードの設定(Set User HDDs Security Passwoed)」を選択し、【ENT】をタップする
はじめて設定する場合、またはマスタパスワードの場合
新しいパスワード画面が表示されるので手順8へ進んでください。
ユーザパスワードが設定済みの場合
パスワード入力画面が表示されるので手順7へ進んでください。
 - 7 今まで設定していたパスワードを入力し【ENT】をタップする
新しいパスワード入力画面が表示されます。
 - 8 新しいパスワードを入力し【ENT】をタップする
-  **チェック**
パスワードの文字列を6文字以内で設定してください。使用できる文字は、半角英字のA ~ Z(大文字 / 小文字の区別はありません)と半角数字の0 ~ 9だけです。
- 9 手順8で入力したパスワードをもう一度入力し【ENT】をタップする
 - 10 「パスワードを設定しました。(Password installed)」の画面が表示されるので【ENT】をタップする
 - 11 設定を保存して、BIOSセットアップユーティリティを終了する

パスワードを解除する

「パスワードの設定 / 変更をする」の手順8で、何も入力せずに【ENT】をタップすると、パスワードが解除されます。

チェック

ハードディスクのパスワードを解除する場合は、必ず「マスタパスワード」、「ユーザパスワード」の順で解除してください。

ハードディスクのロックを無効にする

パソコン起動時に「Hard Disk locked,enter user password:」というメッセージが表示された場合は、次の手順でハードディスクのロックを解除してください。

ハードディスクのユーザパスワードをおぼえている場合

- 1 タブレットPC用ペンで液晶ディスプレイをタップする
ソフトウェアキーボードが表示されます。
- 2 【FnA】をタップする
ソフトウェアキーボードが文字入力モードになります。
- 3 ハードディスクのユーザパスワードを入力し、【ENT】をタップする

これで、ハードディスクのロックが解除されます。

ハードディスクのマスタパスワードをおぼえている場合

- 1 タブレットPC用ペンで液晶ディスプレイをタップする
ソフトウェアキーボードが表示されます。
- 2 【ENT】をタップする
「Hard Disk locked,enter master password:」と表示されます。
- 3 【FnA】をタップする
ソフトウェアキーボードが文字入力モードになります。
- 4 ハードディスクのマスタパスワードを入力し、【ENT】をタップする

これで、ハードディスクのロックが解除されます。

BIOSセットアップユーティリティで、HDDユーザパスワードをHDDマスタパスワードで解除してください。



チェック

ハードディスクのパスワードのセキュリティを有効にしても、設定したマスターパスワードやユーザパスワードをパソコンの起動時に入力する必要はありません。

ウイルスや不正侵入を防ぐ

コンピュータウイルスから守る(Norton AntiVirus)

コンピュータウイルスからパソコンを守るために、日頃からウイルスチェックを行いましょう。コンピュータウイルスに感染すると、パソコンが壊れたり、正常に動作しなくなることもあります。また、パソコンの動作は正常に見えても、知らない間に感染し、パソコンに登録してあるメールアドレスに勝手にウイルス入りのメールを送ってしまうウイルスもあります。このパソコンに添付のNorton AntiVirusを使ってコンピュータウイルスの感染を防ぐようにしましょう。ウイルスに感染してしまった場合もNorton AntiVirusでウイルスを駆除することができます。



参照

「Norton AntiVirus」について 『オンラインマニュアル』「添付アプリケーションの概要と追加/削除」 「添付アプリケーション一覧」

ハードディスク起動セクタへのウイルス感染防止

パソコンの電源を入れたときに、起動のために最初に読み込む部分をハードディスク起動セクタといいます。ハードディスク起動セクタがウイルスに感染してしまうと、パソコンを正常に起動できなくなってしまうことがあります。ハードディスク起動セクタへの書き込みを禁止に設定しておくことで、起動に必要なファイルのウイルス感染を防止できます。

なんらかのプログラムがハードディスク起動セクタへ書き込みを行おうとした場合、次のように表示されます。

BootSector Write ! !

VIRUS : Continue (Enter/ESC) ?

書き込みを防止するためにはEscボタンを押してください。



参照

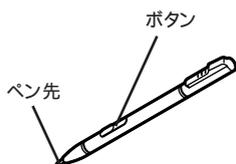
ハードディスク起動セクタへの書き込み禁止の設定 「BIOSセットアップユーティリティ」の「設定項目一覧」(p.91)

タブレット

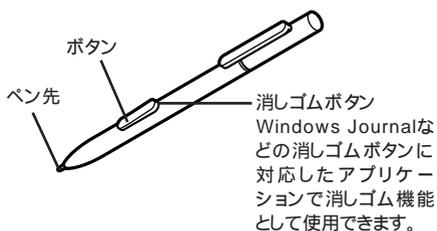
タブレットPC用ペン

各部の名称

タブレットPC用ペン(小)



タブレットPC用ペン(大)

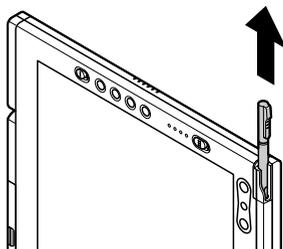


タブレットPC用ペンの出しかたと収納のしかた

タブレットPC用ペン(小)はパソコンに収納されています。

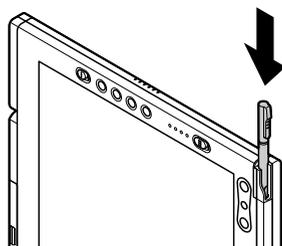
タブレットPC用ペン(小)を取り出す

1 パソコンからタブレットPC用ペンを引き出す



タブレットPC用ペン(小)を収納する

- 1 パソコンのペンを収納する穴にタブレットPC用ペン(小)をゆっくりと差し込む
タブレットPC用ペン(小)とパソコンのくぼみがあうように差し込んでください。



ペン先の交換

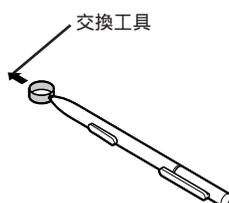
タブレットPC用ペン(大)のペン先がすり減り、操作がしにくくなってきた場合は、次の手順でタブレットPC用ペン(大)のペン先を交換してください。



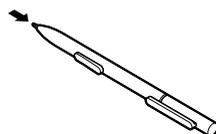
チェック

タブレットPC用ペン(小)はペン先の交換はできません。

- 1 交換工具でペン先をはさみ、引き抜く



- 2 交換用のペン先をペンに差し込む
奥までしっかりと差し込んでください。



タブレットの使い方

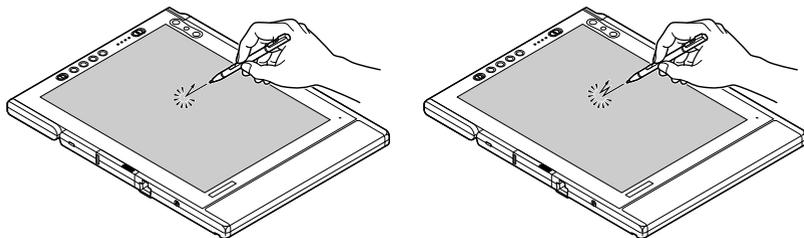
タブレットの基本的な操作

ポインタの移動

ディスプレイのポインタを移動させたい位置にタブレットPC用ペンを近づけると、ポインタが移動します。

タップとダブルタップ

アイコンやフォルダにタブレットPC用ペンで触れてすぐに離す操作をタップと呼びます。タップは、マウスでアイコンやフォルダをクリックするのと同じ機能があります。また、タブレットPC用ペンで素早く2回触れる操作をダブルタップといい、マウスのダブルクリックと同じ機能があります。



プレス アンド ホールド

タブレットPC用ペンを使って、マウスの右クリックにあたる操作をする場合は、プレス アンド ホールドという操作をします。プレス アンド ホールドは次の手順で行います。

- 1 タブレットPC用ペンでアイコンやフォルダに触れ、動かしたり離したりせずしばらくそのままにする
- 2 ポインタが  に変わったら、タブレットPC用ペンを離す

◆メモ

タブレットPC用ペンのボタンを使用しても、マウスの右クリックにあたる操作をすることができます。その場合は、タブレットPC用ペンのボタンを押したままアイコンやフォルダをタップしてください。

ドラッグ

ドラッグしたいアイコンなどをタブレットPC用ペンで触れ、そのままペンをディスプレイから離さずに動かすことでドラッグをすることができます。



Tablet PC 入力パネルの「手書きパッド(英語)」やWindows JournalなどのTablet PCに対応したアプリケーションでは、ジェスチャと呼ばれる特殊な入力でのポインタの制御や文字の削除などの操作ができます。詳しくは、Tablet PC 入力パネルの「ツール」「ヘルプ」「トピックの検索」をタップして表示されるヘルプ、アプリケーションのヘルプなどをご覧ください。

文字入力のしかた

このパソコンでは、文字入力やキーボード操作をする場合は、キーボードのかわりにTablet PC 入力パネルを使用します。

Tablet PC 入力パネルの使い方

Tablet PC 入力パネルを表示するには、タスクバーのボタンをタップします。



ポインタが動かせるようになるまで、タブレットPC用ペンを液晶ディスプレイに近づけて、ポインタを素早く数回振ることでTablet PC 入力パネルを表示することができます。

文字を入力する場合は、タブレットPC用ペンで文字を入力したい部分をタップしてから、Tablet PC 入力パネルから入力してください。

また、Tablet PC 入力パネルの下のタブをタップすることで、次の4種類の入力パネルを切り替えることができます。詳しい操作については、Tablet PC 入力パネルの「ツール」「ヘルプ」「トピックの検索」をタップして表示されるヘルプや、「ツール」「ヘルプ」「チュートリアル」で表示される「Tablet PC 入力パネル チュートリアル」をご覧ください。

キーボード

表示されているキーをタブレットPC用ペンでタップすることで、通常のキーボードのように文字の入力ができます。



メモ

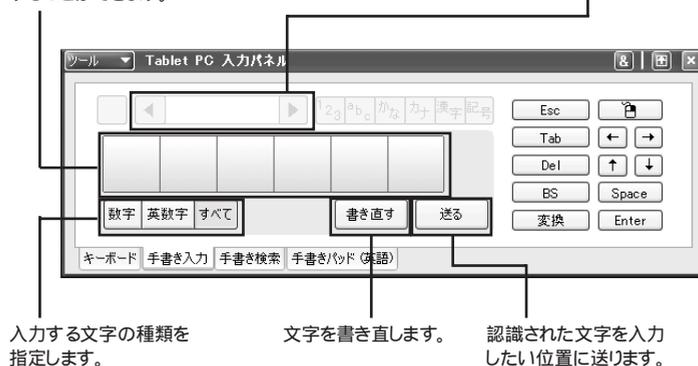
- **Shift**、**Ctrl**、**Alt** と、他のキーを同時に入力する場合は、先に **Shift** などのキーをタップしてから、次に同時に入力したいキーをタップしてください。
- **Caps** は一度タップすると、もう一度タップするまで有効になります。
- **Functn** をタップすると、キーボードの上段がファンクションキーに切り替わります。もう一度 **Functn** をタップすると元に戻ります。

手書き入力

タブレットPC用ペンで文字を書き込むことで、手書きで文字を入力することができます。

ここに手書きで文字を入力します。また、間違って認識された文字をタップすることで、書き直したり、別の候補から選択することができます。

変換候補の文字が表示されます。



入力した文字が間違って認識された場合は、直したい文字をタップして書き直したり、別の候補から選択することもできます。

手書き検索

文字を1つずつ手書きで入力し、表示された候補から選択して入力することができます。

ここに文字を手書きで入力します。

認識された候補の文字が表示されます。



手書きパッド(英字)

英数字を手書きで入力することができます。筆記体でも入力できます。

ここに文字を手書きで入力します。



タブレットとタブレットPC用ペンの設定をする

タブレットとタブレットPC用ペンの設定をすることで、手書き入力をしやすくしたり、文字の認識精度を高めることができます。

タブレットとタブレットPC用ペンの設定は次の手順で行います。

- 1 「スタート」 「コントロールパネル」 「プリンタとその他のハードウェア」 「タブレットとペンの設定」 をタップする
「タブレットとペンの設定」が表示されます。
- 2 設定したい項目のタブをタップして設定する
それぞれのタブで次の設定をすることができます。

設定

- ・ きき手
きき手にあった設定にすることで、文字認識の精度を高めることができます。
- ・ メニューの場所
きき手にあった設定にすることで、メニューの表示位置を変更し、パソコンを使いやすくすることができます。
- ・ 調整
タブレットPC用ペンと実際のポインタの位置のずれを調整します。

画面

- ・ 画面の向き
画面を表示する向きや、画面回転ボタンを押したときの動作を設定できます。
- ・ 画面の明るさ
パソコンの電源の状態ごとに画面の明るさを調整、設定できます。

タブレットのボタン

パソコンのボタンの設定を変更することができます。

ペンのオプション

タブレットPC用ペンのボタンや動作の設定をすることができます。

タブレットを利用するときの注意

- ・ このパソコンのタブレットは電磁誘導を用いています。次のような、強力な電界、磁界が発生している場所では、タブレットが誤動作する場合があります。
 - AMラジオ基地局、中継局のアンテナの近く
 - 強力な電磁界ノイズを発生させる一部のCRTディスプレイの近く誤動作をした場合でも、上記のような場所から離れればタブレットの動作は正常に戻ります。
- ・ タブレットPC用ペンには、ペン先のタッチを検出するための圧力センサーが内蔵されています。落下などの強い衝撃やペン先への強い圧力、水に濡らすことなどは、タブレットPC用ペンの故障、破損の原因になるので注意してください。

ボタン

このパソコンにあるボタンを使うことで、操作を簡単に行ったり、ペン入力のみでは難しい操作を簡単に実行したりすることができます。

ボタンの名称と機能

購入時、パソコンのボタンには次の機能が設定されています。

ボタン	説明
画面回転ボタン(⌵)	一度押すごとに画面を右に90度回転します。
Escボタン(⊗)	キーボードのEscキーと同じ機能です。
ファンクションボタン (Fn)	他のボタンと組み合わせて機能を実行します。続けて2回押すと「タブレットPCメニュー」が表示されます。
☞ボタン	CtrlキーとAltキーを押しながらDelキーを押したときと同じ機能です。
アップボタン(UP)	カーソルキーのと同じ機能です。
Enterボタン(⊙)	Enterキーと同じ機能です。
ダウンボタン(DOWN)	カーソルキーのと同じ機能です。

ファンクションボタン機能を使う

ボタン	説明
ファンクションボタン +画面回転ボタン	外部ディスプレイが接続されている場合に、外部ディスプレイに表示する/しないを切り替えます。
ファンクションボタン +Escボタン	Altキーを押しながらEscキー押したときと同じ機能です。
ファンクションボタン +アップボタン	PageUpと同じ機能です。
ファンクションボタン +Enterボタン	TABキーと同じ機能です。
ファンクションボタン+ ダウンボタン	PageDownと同じ機能です。

ボタンの設定

次のボタン操作は、押したときの機能を設定することができます。

- ・ 画面回転ボタン
- ・ ESCボタン
- ・ アップボタン
- ・ Enterボタン
- ・ ダウンボタン
- ・ ファンクションボタン + Escボタン
- ・ ファンクションボタン + アップボタン
- ・ ファンクションボタン + Enterボタン
- ・ ファンクションボタン + ダウンボタン

ボタンの設定は「スタート」 「コントロールパネル」 「プリンタとその他のハードウェア」 「タブレットとペンの設定」で行うことができます。

CD/DVDドライブ

使用する前に

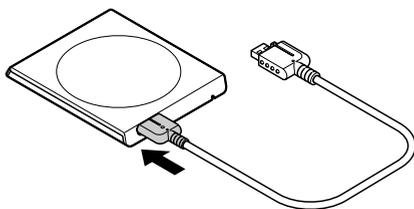
次の手順でUSBコネクタに接続してください。

チェック

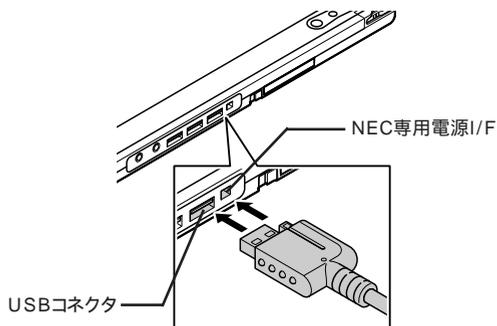
CD/DVDドライブが添付されていないモデルをお使いの場合、このパソコンでCD-ROMなどのディスクを使用するには別売の外付けCD-R/RWドライブ(PC-VP-BU13)または外付けCD-ROMドライブ(PC-VP-BU12)が必要です。

CD/DVDドライブを接続する

- 1 CD/DVDドライブの背面にCD/DVDドライブ用ケーブルのマークのある方のプラグを取り付ける
プラグの向きに注意して、差し込んでください。



- 2 CD/DVDドライブ用ケーブルのもう一方のプラグをパソコンのUSBコネクタ(USB)とNEC専用電源I/F(NEC)に接続する
プラグの向きに注意して、差し込んでください。





参照

USBコネクタへの接続 「USBコネクタ」(p.65)

CD/DVDドライブを取り外す

CD/DVDドライブを接続すると画面右下の通知領域にが表示されます。CD/DVDドライブを取り外すときは、をタップすると表示される「××××を安全に取り外します」で、取り外す機器名が表示されているものをタップします。「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。



チェック

正しい手順で取り外さないと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

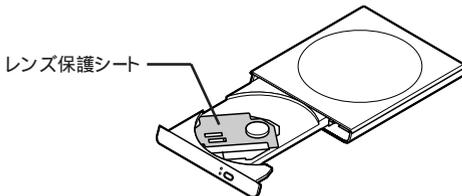
CD/DVDドライブを縦置きで使う

このパソコンに添付のCD/DVDドライブは縦置きで使用することができます。CD/DVDドライブを縦置きで使用する場合は、添付のCD/DVDドライブ用スタンドにCD/DVDドライブを立てて使用してください。

CD-R/RWドライブのレンズ保護シートの取り外し方(CD-R/RWモデルのみ)

購入時の状態では、CD-R/RWドライブにはレンズ保護シートが取り付けられている場合があります。その場合は、使用する前にレンズ保護シートを取り外してください。

- 1 CD-R/RWドライブのイジェクトボタンを押す
- 2 手でディスクトレイを静かに引き出す
- 3 レンズ保護シートを取り外す



- 4 CD-R/RWドライブのイジェクトボタンに触れないようにディスクトレイ前面を押して、ディスクトレイを元の位置に戻す

ドライブとディスクの互換性

このパソコンのCD/DVDドライブで使えるディスクは次のとおりです。

ドライブの種類	再生		読み込み				書き込み	書き込み/ 書き換え
	音楽CD、 ビデオCD、 フォトCD	DVD- Video ディスク	CD- ROM	CD-R	CD-RW	DVD-ROM	CD-R	CD-RW
CD-ROM ドライブ		-				-	-	-
CD-R/RW ドライブ		-				-		

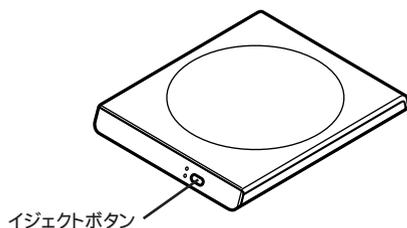
 チェック

- ・ コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Discの規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDについては、音楽の再生や音楽CDの作成ができないことがあります。
- ・ このパソコンで音楽CDを使用する場合、ディスクレーベル面にCompact Discの規格準拠を示す[CDロゴ] () マークの入ったディスクを使用してください。
- ・ CD (Compact Disc) 規格外ディスクを使用すると、正常に再生ができなかったり、音質が低下したりすることがあります。

ディスクのセットのしかたと取り出し方

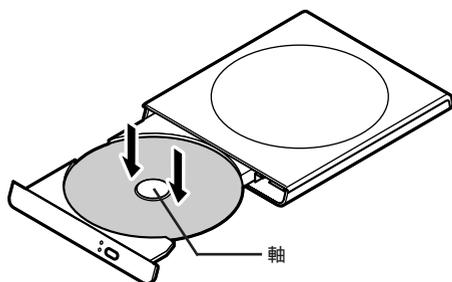
ディスクをセットする

- 1 CD/DVDドライブのイジェクトボタンを押す



ディスクトレイが少し飛び出します。

- 2 手でディスクトレイを静かに引き出す
- 3 ディスクのデータ面(文字などが印刷されていない面)を下にして、傷など付けないようディスクトレイの中央に置き、ディスクを軸にしっかりはめ込む



- 4 CD/DVDドライブのイジェクトボタンに触れないようにディスクトレイ前面を押して、ディスクトレイを元の位置に戻す

ディスクを取り出す



チェック

ディスクへのアクセス中(アクセスランプ点灯中)は、ディスクを取り出さないでください。

CD/DVDドライブのイジェクトボタンを押すとディスクトレイが少し飛び出すので、ディスクトレイを引き出してディスクを取り出してください。

音楽CDの再生

音楽CD からのデジタル出力設定

このパソコンのスピーカから音楽CDの音声を出力したい場合は、音楽CDのデジタル出力設定が必要です。



参照

音楽CD からのデジタル出力設定 『オンラインマニュアル』「パソコンの設定」「サウンド」

CD-RやCD-RWへのデータの書き込み(CD-R/RWモデルのみ)

このパソコンに添付されている「RecordNow DX」で、CD-RやCD-RWへのデータの書き込みや、データのバックアップをすることができます。



チェック

- お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどの複製や改変を行う場合、オリジナルのCD-ROMなどについての著作権を保有していなかったり、著作権者から複製・改変の許諾を受けていない場合は、著作権法または利用許諾条件に違反することがあります。複製などの際は、オリジナルのCD-ROMなどの利用許諾条件や複製に関する注意事項にしたがってください。
- コピーコントロールCDなど、一部の音楽CDでは音楽CDを作成できない場合があります。
- 使用するディスクによって、CD-Rへの書き込み時間やCD-RWの書き換え時間が、表示される書き込み / 書き換え時間と異なることがあります。



参照

「RecordNow DX」について 『オンラインマニュアル』「添付アプリケーションの概要と削除 / 削除」「添付アプリケーション一覧」

Virtual CD 7を使う

Virtual CD 7は、パソコンに仮想CD-ROMドライブを追加して、そのドライブで使用できる仮想CDを作成し、利用するためのアプリケーションです。作成した仮想CD-ROMドライブは、Windows上で通常のCD-ROMドライブを扱うような感覚で利用できます。



仮想CDとは、CD-ROMや音楽CDの内容をハードディスク上に1つのファイルとしてまとめたもので、Virtual CD 7によって追加された仮想CD-ROMドライブで使用することができます。



Virtual CD 7は、購入時にはインストールされていません。Virtual CD 7のインストールについては『オンラインマニュアル』「添付アプリケーションの概要と追加/削除」 「添付アプリケーション一覧」をご覧ください。



Virtual CD 7の詳しい使い方について 「スタート」 「すべてのプログラム」 「Virtual CD」 「Virtual CD マニュアル」



「Virtual CD マニュアル」はオンラインのマニュアルです。「Virtual CD マニュアル」をご覧になるには、Acrobat Readerが必要です。インストールされていない場合は、『オンラインマニュアル』「添付アプリケーションの概要と追加/削除」 「添付アプリケーション一覧」の「Acrobat Reader」をご覧ください、インストールを行ってください。

CD/DVDドライブを使用するときの注意

- ・ CD/DVDドライブ内のレンズには触れないでください。
- ・ ラベルやテープが貼られているなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、使用時の振動や故障の原因になります。
- ・ アクセランプが点滅しているときは、パソコンからCD/DVDドライブ用ケーブルを取り外さないでください。また、ケーブルの抜き差しを行う場合は3秒以上の間隔をおいてください。
- ・ CD/DVDドライブのほかにもUSB対応機器を接続していると、転送速度が遅くなることがあります。

フロッピーディスクドライブ

使用する前に

次の手順でUSBコネクタに接続してください。

チェック

フロッピーディスクドライブが添付されていないモデルをお使いの場合、フロッピーディスクを使用するには別売のフロッピーディスクドライブ(PC-VP-WU14)が必要になります。

フロッピーディスクドライブを接続する

- 1 添付のフロッピーディスクドライブのプラグをパソコンのUSBコネクタ()に接続する
プラグの向きに注意して、差し込んでください。

参照

USBコネクタへの接続 「USBコネクタ」(p.65)

フロッピーディスクを取り外す

フロッピーディスクドライブを接続すると画面右下の通知領域にが表示されません。フロッピーディスクドライブの取り外しは、をタップすると表示される「××××を安全に取り外します」で、取り外す機器名が表示されているものをタップします。「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。

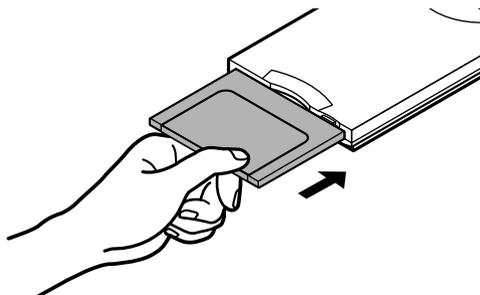
チェック

正しい手順で取り外さないと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

フロッピーディスクのセットのしかたと取り出し方

フロッピーディスクをセットする

- 1 カチッと音がするまでフロッピーディスクを水平に差し込む
フロッピーディスクがセットされるとイジェクトボタンが少し飛び出します。



フロッピーディスクを取り出す

フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンを押すとフロッピーディスクが少し飛び出すので、水平に引き出してください。

チェック

- ・ フロッピーディスクを取り出す際は、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- ・ フロッピーディスクアクセスランプ点灯中は、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因となります。

フロッピーディスクドライブを使用するときの注意

- ・ PC-9800シリーズのパソコンでフォーマットされたフロッピーディスクを使ってシステムを起動することはできません。
- ・ ディスクのコピーを行う場合、コピー先のフロッピーディスクは、コピー元のフロッピーディスクと同じ容量でフォーマットされたものを使用してください。
- ・ フォーマットしていないフロッピーディスクを使用すると、処理に時間がかかる場合があります。

USBコネクタ

USBコネクタについて

USBコネクタには、プリンタやイメージスキャナなど、いろいろなUSB対応機器を取り付けることができます。基本的な取り付け方はどのUSB対応機器でも同じです。

このパソコンのUSBコネクタ

このパソコンには、USB 2.0に対応したUSBコネクタが用意されています。USB 2.0およびUSB 1.1に対応したUSB機器を使用できます。USB 2.0に対応している周辺機器を取り付けることで、USB 2.0の転送速度を利用できるようになります。USB 2.0に対応している周辺機器には、外付けのハードディスクやCD-R/RWドライブなどがあります。

USB 2.0に対応の周辺機器を接続するときは、接続に使うUSBケーブルもUSB 2.0規格に対応したものを使ってください。

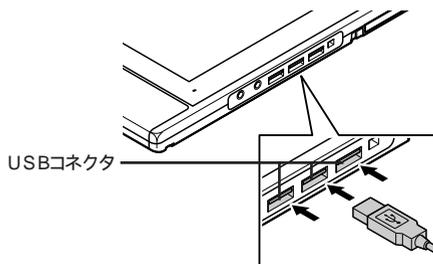
接続の前に

- ・ 機器によってはドライバやアプリケーションの設定が必要になるものもあります。取り付ける機器のマニュアルをご覧ください。必要な設定を行ってください。
- ・ USB 2.0の転送速度を出すにはUSB 2.0対応の機器を接続する必要があります。また、USB 2.0の機器をUSB 1.1規格のハブで利用した場合は、USB 1.1の転送速度に制限されます。

USB対応機器の取り付け方と取り外し方

USB対応機器を取り付ける

- 1 USB対応機器のプラグを向きに注意して、パソコンのUSBコネクタ()に差し込む
プラグの向きに注意して、差し込んでください。



- 2 USB対応機器が正しく認識されたかを確認する
確認方法については、USB対応機器のマニュアルをご覧ください。

チェック

USBハブを使用する場合は、USBハブをパソコンに先に取り付けてから、USB対応機器のプラグをUSBハブのコネクタに差し込んでください。

USB対応機器を取り外す

画面右下の通知領域にが表示されている場合は、をタップすると表示される「×××を安全に取り外します」で、取り外す機器名が表示されているものをタップします。「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。

チェック

正しい手順で取り外さないと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

が表示されていない場合は、そのまま取り外せません。

USB対応機器を使用するときの注意

- ・ USBコネクタの抜き差しは3秒以上の間隔を置いて行ってください。
- ・ USBデバイスが正常に認識されていないときは、一度USBコネクタからプラグを抜いて、もう一度差し込んでください。
- ・ 省電力状態のときや省電力状態に移行中、復帰中はUSBコネクタの抜き差しをしないでください。

USBマウス

このパソコンでは、添付の光センサーUSBマウス(光センサーUSBマウス添付のモデルの場合)やUSBマウス(USBマウス添付のモデルの場合)が使用できます。また、マウスが添付されていないモデルをお使いの場合でも、別売のUSBマウスを使用することができます。

チェック

USBマウスによっては専用のドライバのインストールが必要な場合があります。詳しくはお使いのマウスのマニュアルをご覧ください。

コンパクトフラッシュカードスロット

このパソコンではPC Card Standardに準拠したコンパクトフラッシュカードを使うことができます。

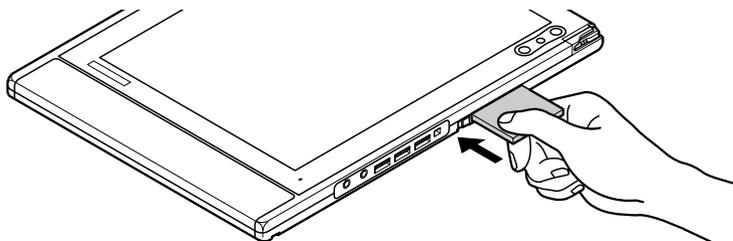
コンパクトフラッシュカードのセットのしかたと取り出し方

コンパクトフラッシュカードをセットする / 取り出すときの注意

- ・コンパクトフラッシュカードをセットする / 取り出す際は、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- ・コンパクトフラッシュカードには表と裏があり、スロットに差し込む方向も決まっています。間違った向きで無理やり差し込むと、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。
- ・休止状態またはスタンバイ状態のときは、コンパクトフラッシュカードをセットしたり、取り出したりしないでください。
- ・アプリケーションを使用中は、コンパクトフラッシュカードをセットしたり、取り出したりしないでください。

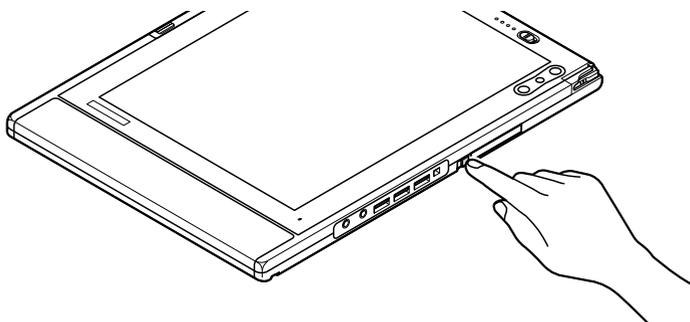
コンパクトフラッシュカードをセットする

コンパクトフラッシュカードの差し込む向きを確認し、ラベル面を上にして、スロットにまっすぐ差し込んでください。



コンパクトフラッシュカードを取り出す

- 1  をタップすると表示される「××××を安全に取り外します」で、コンパクトフラッシュカード名が表示されているものをタップする
「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外すことができるようになります。
- 2 イジェクトボタンを押す
イジェクトボタンが手前に飛び出します。



- 3 もう一度、イジェクトボタンをカチッと音がするまで押す
コンパクトフラッシュカードが少し飛び出します。
- 4 コンパクトフラッシュカードをまっすぐ引き抜く

コンパクトフラッシュカードを使用するときの注意

- ・コンパクトフラッシュカードは精密にできています。コンパクトフラッシュカードやスロットの故障を防ぐため、次の点に注意してください。
 - 高温多湿あるいは低温の場所に放置しない
 - 濡らさない
 - 重いものを乗せたり、ねじ曲げたりしない
 - ぶついたり、落としたりして衝撃を与えない
 - コンパクトフラッシュカードの端子部分に金属などを差し込まない
- ・PC Card Standardに準拠していないコンパクトフラッシュカードは使えません。対応していないコンパクトフラッシュカードを無理に押し込むと、故障の原因となります。

メモリスロット

メモリを増やすことで、より多くのアプリケーションを同時に起動したり、大きなデータをより高速に扱うことができるようになります。

このパソコンで使える増設RAMボード

このパソコンでは、次の増設RAMボードが使用できます。

型名	メモリ容量
PK-MM133SD512	512Mバイト

増設RAMボードを取り扱うときの注意

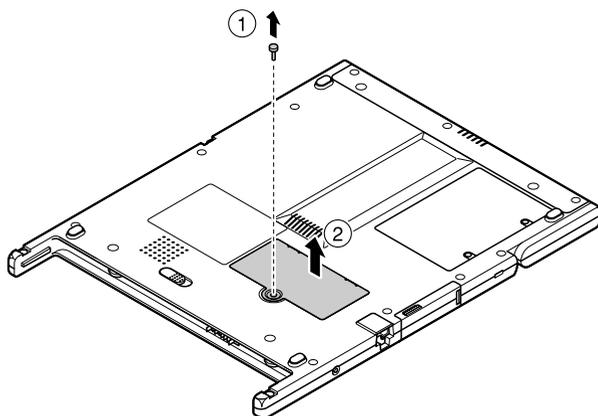
- ・ 増設RAMボードの取り付け/取り外しを行う際は、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- ・ 増設RAMボードは静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMボードを扱うと破損する原因となります。増設RAMボードに触れる前に、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除いてください。
- ・ 増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因となります。
- ・ ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。

増設RAMボードの取り付け方と取り外し方

増設RAMボードを取り付ける

- 1 パソコンの電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタをパソコンから取り外す
- 3 パソコンを裏返す
- 4 バッテリーパックを取り外す(p.21)

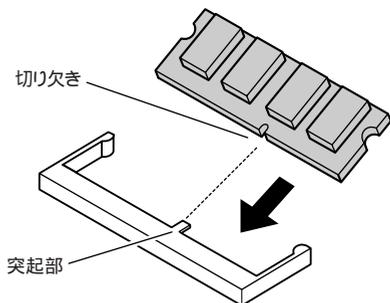
- 5 図のネジをプラスドライバーで取り外し、メモリスロットのカバーを取り外す



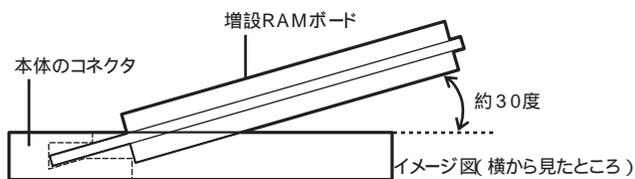
- 6 増設RAMボードの切り欠き部分とコネクタの突起部を合わせ、コネクタに対して約30度の挿入角度で、増設RAMボードの端子が当たるまで挿入する。増設RAMボードが奥まで挿入できている場合は、端子部分(金色)のほとんどが、本体のコネクタに差し込まれた状態になります。

 チェック

増設RAMボードの表と裏が間違っている場合、増設RAMボードの切り欠きとコネクタの突起部の位置が合わず、挿入することができません。間違った向きのまま無理に取り付けようとすると、パソコンのコネクタ部や増設RAMボードが破損する原因となりますので注意してください。



実物はイラストと多少異なる場合があります

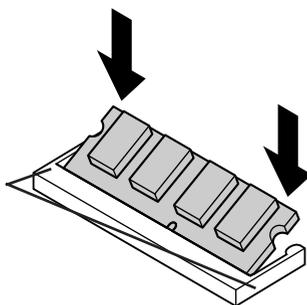


🔍 チェック

挿入するときに、コネクタが固いことがあります。奥までしっかり押し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順を行うと、コネクタを破損するおそれがあります。

7 カチッと音がする位置まで増設RAMボードをコネクタに強く倒し込む

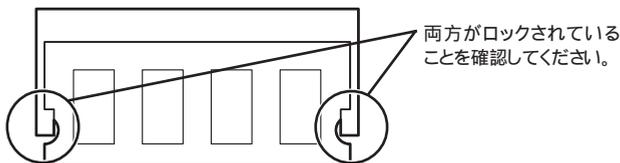
増設RAMボードを倒し込むときこの部分が左右に開き、RAMボードがロックされると元の位置に戻ります。



- 8 増設RAMボードがコネクタにしっかりロックされたことを確認する
正しくロックされている場合は、増設RAMボードが水平で、端子の金色の部分が少し(1mm程度)見える状態です。

 チェック

確実にロックされていないと、本体のコネクタ部や増設RAMボードの故障の原因となります。また、パソコンが正しくメモリを認識できないこともあります。



- 9 メモリスロットのカバーを元に戻し、外したネジを本体底面に取り付ける
- 10 バッテリーパックとACアダプタを取り付ける

メモリ増設後は、次の「増設したメモリの確認」をご覧ください。メモリ容量を確認してください。

増設したメモリの確認

増設が正常に行われ、メモリがパソコンに認識されているかどうかを確認します。

- 1 「スタート」「コントロール パネル」「パフォーマンスとメンテナンス」「システム」をタップする
「システムのプロパティ」が表示されます。
- 2 「全般」タブで右下に表示されている内容を確認する
「***MB RAM」と表示されています。***MBが総メモリ容量です。

メモリ容量が増えていない場合は、次のことを確認してください。

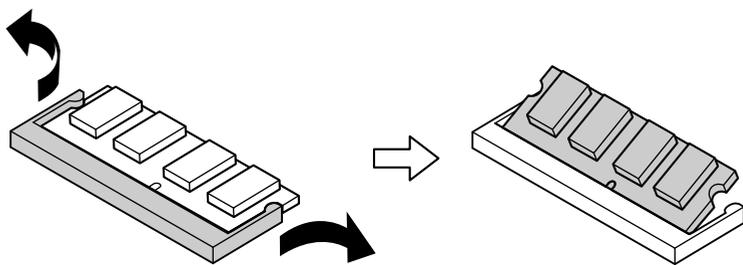
- ・ 増設RAMボードが正しく取り付けられているか
- ・ 本機で利用できる増設RAMボードを取り付けているか

● チェック

- ・ このパソコンでは、メインメモリを16Mバイト、ビデオメモリとして使用します。表示される総メモリ容量は増設したメモリ分より16Mバイト少ない値になります。
- ・ システムの状態によっては、増設したメモリ分より容量が少なく表示される場合がありますが、故障ではありません。
- ・ メモリを増設したあとに休止状態の機能を使用する場合は、増設したメモリ容量分のハードディスクの空き容量が必要です。『オンラインマニュアル』の「トラブル解決Q&A」の「省電力機能」を参照し、ハードディスクの容量を確認してください。

増設RAMボードを取り外す

- 1 「増設RAMボードを取り付ける（p.70）の手順1～5を行い、メモリスロットのカバーを取り外す
- 2 メモリスロットのコネクタの両端部分を左右に押し広げる
増設RAMボードが図のように起き上がります。



- 3 起き上がった増設RAMボードをそのまま斜めに引き抜く
- 4 メモリスロットのカバーを元に戻し、外したネジを本体底面に取り付ける
- 5 バッテリーパックとACアダプタを取り付ける

表示機能

画面表示の調整

輝度の調整

画面の明るさ(輝度)を8段階で調整することができます。画面の明るさは電源の状態ごとに設定できます。画面の明るさの調整は次の手順で行います。

- 1 「スタート」 「コントロールパネル」 「プリンタとその他のハードウェア」 「タブレットとペンの設定」 をタップする
「タブレットとペンの設定」が表示されます。
- 2 「画面」 をタップする
- 3 「画面の明るさ」 の 「設定」 で電源の状態を選択する
- 4 「画面の明るさ」 の 「明るさ」 で、手順3で選んだ電源の状態のときの画面の明るさを設定する
- 5 「OK」 をタップする

解像度と表示色の設定

このパソコンの液晶ディスプレイで表示可能な解像度や表示色については、PART3の「仕様一覧」(p.126)をご覧ください。解像度と表示色の変更のしかたや、複数のディスプレイを取り付けた場合に表示可能な解像度や表示色については、『オンラインマニュアル』 「パソコンの設定」 「画面」 をご覧ください。

画面回転機能

画面回転機能は、表示されている画面イメージを回転させた状態で液晶ディスプレイに表示する機能です。

パソコンを使用する向きにあわせて画面を回転させたり、向かい側にいる人にプレゼンテーションを行う場合などに利用できます。

画面を回転するには、次の方法があります。

画面回転ボタンを使う

購入時の設定では、画面回転ボタンを押すごとに画面が90度ずつ回転します。

「タブレットとペンの設定」で行う

「スタート」「コントロールパネル」「プリンタとその他のハードウェア」「タブレットとペンの設定」をタップすると表示される「タブレットとペンの設定」で画面の向きを変更できます。詳しくは『オンラインマニュアル』「パソコンの設定」画面をご覧ください。



チェック

画面を回転させた場合は、タブレットの調整を行ってください。

外部ディスプレイの接続

より大きな画面に表示させたいときや、別のディスプレイにも表示させたいときなど、このパソコンに市販のディスプレイを接続することができます。

外部ディスプレイコネクタに接続する

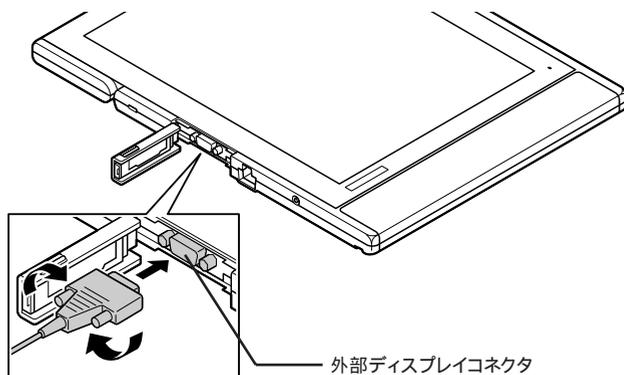
外部ディスプレイコネクタ()には、別売の外部ディスプレイやプロジェクタなどを接続できます。

より大きな画面に表示させてパソコンを使ったり、プレゼンテーションなどに活用することができます。

1 パソコンの電源を切る

2 ディスプレイ用ケーブルで、外部ディスプレイコネクタ()と外部ディスプレイやプロジェクタを接続する

詳しい接続については、外部ディスプレイやプロジェクタのマニュアルをご覧ください。



複数ディスプレイ使用時の機能

同じ画面を2つのディスプレイに同時表示する機能や、1つのディスプレイに入りきれない画面を2つのディスプレイを使って表示する機能などがあります。

同時表示機能

このパソコンの液晶ディスプレイと、パソコンに接続した外部ディスプレイの2つのディスプレイに同じ画面を表示する機能です。たとえば、プロジェクタなどを使ってプレゼンテーションを行う場合、手元にあるパソコンのディスプレイを操作しながら同じ画面をプロジェクタの大画面で映し出したいときなどに利用できます。



参照

同時表示機能 『オンラインマニュアル』「パソコンの設定」画面」

デュアルディスプレイ機能

このパソコンの液晶ディスプレイと、パソコンに接続した外部ディスプレイを使って、1つの大きな画面を表示できる機能です。2つのディスプレイの画面を連続した1つの画面として使えるので、表示できる範囲が大きくなります。

チェック

- ・デュアルディスプレイ機能は、画面の表示方向を「横(プライマリ)」に設定している場合のみ使用可能です。
- ・デュアルディスプレイ機能を使用しているときは、パソコンのボタンを使って画面回転や表示ディスプレイの切り替えを行うことはできません。
- ・外部ディスプレイ側の操作をする場合は、USBマウスが必要です。

参照

デュアルディスプレイ機能 『オンラインマニュアル』「パソコンの設定」「画面」

表示ディスプレイの切り替え

外部ディスプレイを接続している場合は、次の方法で表示するディスプレイを切り替えることができます。

ボタンで切り替える

ファンクションボタンを押したまま画面回転ボタンを押すごとに、「液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示」と「液晶ディスプレイ」の順で表示するディスプレイが切り替わります。

チェック

- ・複数のディスプレイに表示しているときにこの操作を行うと、設定が解除されます。
- ・デュアルディスプレイ機能を使用している場合は切り替えることはできません。

コントロールパネルで切り替える

コントロールパネルで画面の出力先を切り替えることができます。

参照

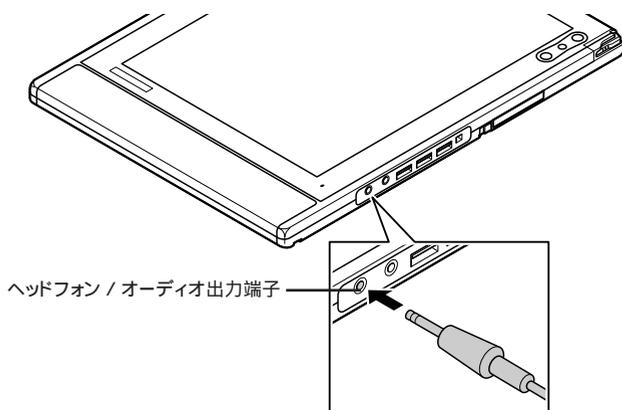
画面の出力先の切り替え 『オンラインマニュアル』「パソコンの設定」「画面」

サウンド機能

接続できる機器

ヘッドフォンやオーディオ機器を接続する

市販のヘッドフォンやAVアンプなどのオーディオ機器は、このパソコンのヘッドフォン/オーディオ出力端子(🔊)に接続します。

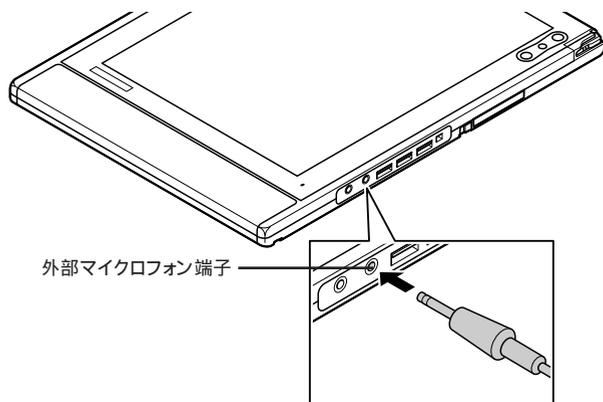


🔍 チェック

ヘッドフォンやオーディオ機器は、このパソコンと機器の音量を最小にしてから取り付けるようにし、音量は取り付けた後で調整してください。

マイクロフォンを接続する

マイクロフォンは、このパソコンの外部マイクロフォン端子(🎧)に接続します。外部マイクロフォン端子には、市販のミニプラグ付きマイクロフォンを接続することができます。



ヘッドフォンマイクを接続する

ヘッドフォンマイク添付のモデルをお使いの場合、または別売のヘッドフォンマイクをお持ちの場合は、このパソコンにヘッドフォンマイクを接続してインターネット電話をかけることができます。

◆メモ

テレビ電話を利用する場合はヘッドフォンマイクのほかにUSBカメラも必要です。

🔍チェック

ヘッドフォンマイクを接続する場合や使用する前に、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をご覧ください。

音量の調節

ボリュームコントロールを使う

Windowsのボリュームコントロールを使うと、内蔵音源の再生音量や録音するときの入力レベルを調節することができます。



参照

ボリュームコントロールの使い方 『オンラインマニュアル』「パソコンの設定」「サウンド」

音楽CDからのデジタル出力設定

音楽CDからのデジタル出力を行う場合は、デジタル出力できる設定になっていることを確認してください。出力できない設定になっている場合は設定を変更してください。



チェック

USBコネクタに接続するCD-R/RWドライブまたはCD-ROMドライブは、音楽CDからのデジタル出力のみ使用可能です。USBコネクタに接続するCD-R/RWドライブまたはCD-ROMドライブを使用して音楽CDを再生 / 録音する場合は、アナログではなくデジタルで音楽CDを再生するように設定しておく必要があります。



参照

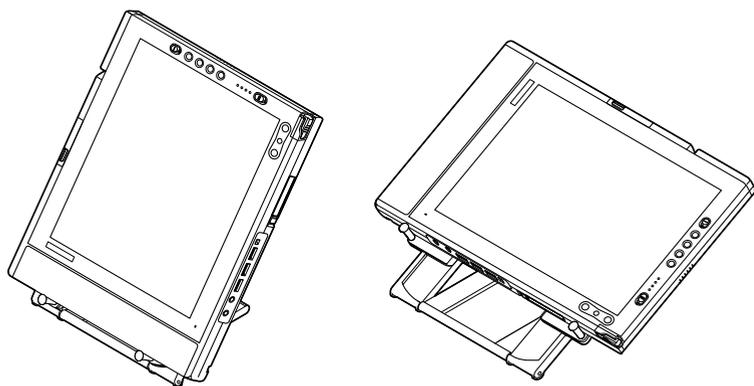
音楽CDからのデジタル出力をするための設定について 『オンラインマニュアル』「パソコンの設定」「サウンド」

サウンドの設定

「SoundMAXコントロールパネル」を使って、マイクの設定やMIDIサウンドの設定ができます。MIDIサウンドの設定では、GS、XG-Lite、GeneralMIDIのサウンドが設定できます。詳しくは、『オンラインマニュアル』「パソコンの設定」「サウンド」をご覧ください。

スタンド

このパソコンには専用のスタンドが添付しています。スタンドを使うことで、操作がしやすい角度やプレゼンテーションや展示などに適した角度にパソコンを設置することができます。また、スタンドには、パソコンを縦、横のどちらの向きにも置くことができます。

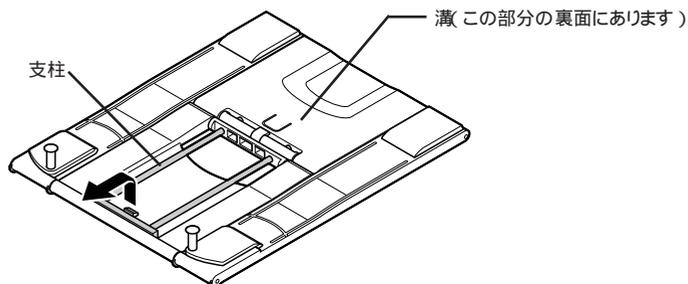


スタンドを使う

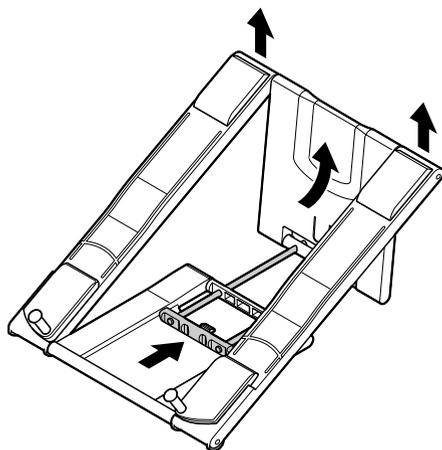
折りたたんだ状態からスタンドを立てる

折りたたんだ状態からのスタンドを立てるには、次の手順で行ってください。

- 1 スタンドの支柱を少し上に持ち上げ、手前に引く
溝から支柱が外れ、ロックが解除されます。

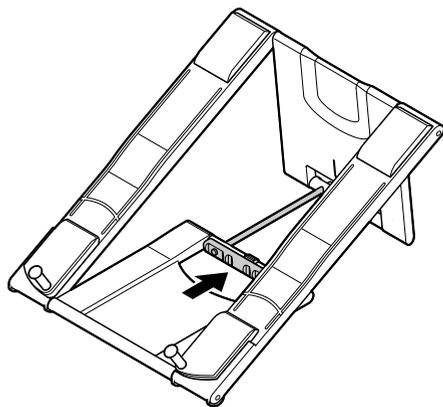


2 スタンドを起こす



3 支柱をスライドさせる

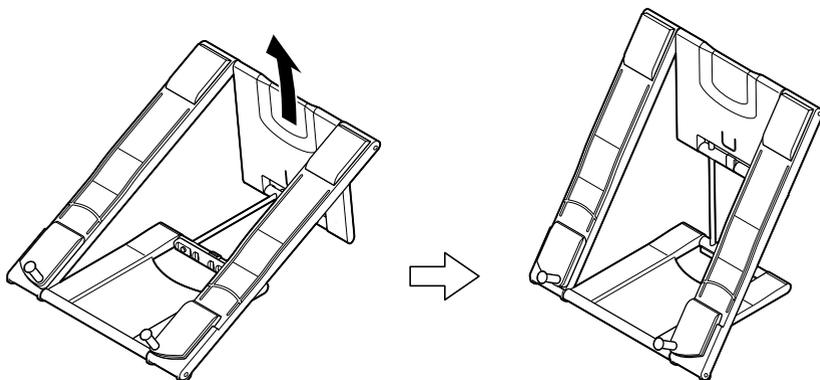
奥までしっかりとスライドさせてください。



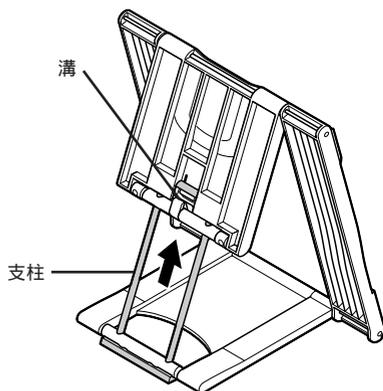
スタンドの角度を変える

スタンド(低)からスタンド(高)に変える

1 図のようにスタンドを起こす

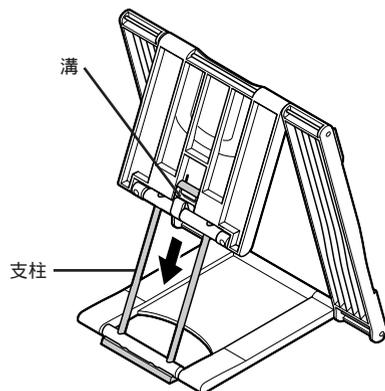


2 スタンドの支柱を、溝にはめ込む
支柱は溝にしっかりとめ込んでください。



スタンド(高)からスタンド(低)に変える

1 溝から支柱を取り外す

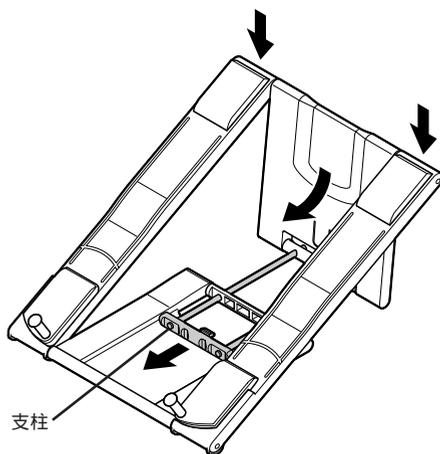


2 スタンドを倒す

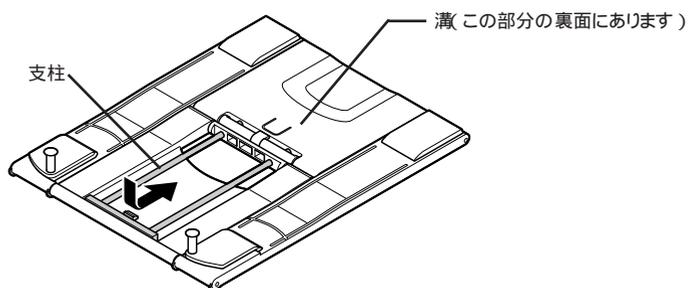
スタンドを折りたたむ

スタンドを使用しないときは、折りたたんでおくことができます。
スタンドを折りたたむときは、スタンド(低)の状態から次の手順で行います。

1 支柱を手前に引き、スタンドを倒す



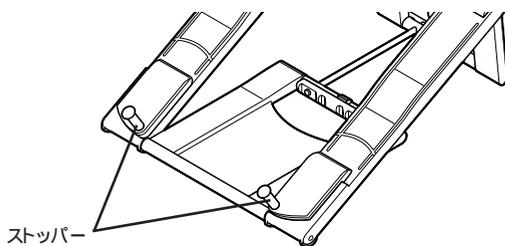
2 支柱を溝にはめ込む



パソコンをスタンドに置く

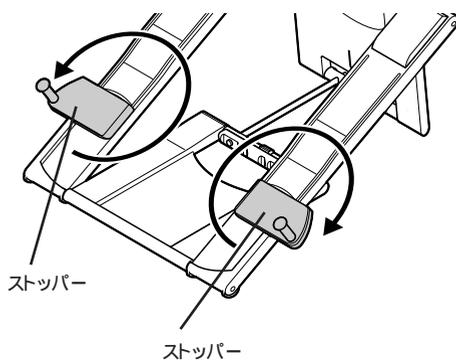
パソコンを縦向きに置く場合

スタンドのストッパーは図の位置で使用してください。



パソコンを横向きに置く場合

スタンドのストッパーを図の位置まで回転させて使用してください。



BIOSセットアップユーティリティ

BIOSセットアップユーティリティの使い方

BIOSセットアップユーティリティの起動

- 1 パソコンの電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたらダウンボタンを数回押す
BIOSセットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。



BIOSセットアップユーティリティが表示されないときは、電源を入れなおしてダウンボタンを押す間隔を変えてください。

日本語表示に切り替える

- 1 BIOSセットアップユーティリティを起動する
- 2 タブレットPC用ペンで液晶ディスプレイをタップする
ソフトウェアキーボードが表示されます。
- 3 【】または【】をタップして「Language」を選び、【ENT】をタップする
- 4 【】または【】をタップして「Japanese」を選び、【ENT】をタップする
- 5 【F10】をタップする
確認の画面が表示されます
- 6 「はい」になっていることを確認して【ENT】をタップする

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了します。
以降、BIOSセットアップユーティリティが日本語で表示されるようになります。

BIOSセットアップユーティリティの基本操作

操作はソフトウェアキーボードとタブレットPC用ペンで行います。
ソフトウェアキーボードはタブレットPC用ペンで画面をタップすると表示されます。

設定を変更する

- ・【 **X** 】でメニューを選び、【 **Y** 】で設定項目を選びます。
- ・設定内容の値は【 + **X** - 】で変更します。

文字を入力する

パスワードの設定画面などで文字を入力する場合は、ソフトウェアキーボードの【FnA】をタップしてください。ソフトウェアキーボードが文字入力モードに切り替わります。

文字入力モードを解除する場合は、もう一度【FnA】をタップしてください。

設定の変更を取り消す

「終了(Exit)」メニューの「変更を取り消す(Discard Changes)」を選びます。各設定項目の設定内容を最後に保存した値に戻します。

購入時の値に戻す



購入時の値に戻しても、パスワードの設定は変更されません。

- 1 ソフトウェアキーボードの【F9】をタップする
セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- 2 「はい(Ok)」が選ばれていることを確認して【ENT】をタップする
- 3 ソフトウェアキーボードの【F10】をタップする
セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- 4 「はい(Ok)」が選ばれていることを確認して【ENT】をタップする
購入時の値が設定され、BIOSセットアップユーティリティが終了します。

BIOSセットアップユーティリティの終了

変更を保存して終了する

- 1 ソフトウェアキーボードの【F10】をタップする
セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
終了を中止したいときは【ESC】をタップしてください。
- 2 「はい(Ok)」が選ばれていることを確認して【ENT】をタップする
設定内容が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了します。

変更を保存せずに終了する

「終了(Exit)」メニューの「変更を保存せずに終了する(Discard Changes and Exit)」を選びます。設定内容を最後に保存した値に戻して、BIOSセットアップユーティリティを終了します。

設定項目一覧

ここでは、BIOSセットアップユーティリティでどのような設定ができるかを説明しています。

表中の反転部分は、購入時の設定です。

「標準設定」メニューの設定



チェック

内蔵HDDの設定を変更すると、内蔵ハードディスクが動作しなくなる場合がありますので、通常は初期設定のまま使用してください。

設定項目	設定値	説明
BIOS-VBIOS-ECバージョン	-	BIOSのバージョンを表示します。
メモリ容量	-	搭載されているメモリ容量を表示します。
表示言語 (Language)の選択	English Japanese	BIOSセットアップユーティリティで使用する言語を設定します。標準では「English」に設定されています。
システム日付	-	日付を西暦で指定します。
システム時刻	-	現在の時刻を「時:分:秒(24時間形式)」で設定します。
IDEプライマリマスター	-	現在接続されているIDEデバイスが表示されます。この項目にカーソルをあわせて【ENT】をタップすると、IDEデバイスの詳細が表示されます。
起動セクタへのライトプロテクト	使用しない 使用する	ウイルス感染防止のため、ハードディスク起動セクタを書き込み禁止にするかどうかを設定します。「使用する」に設定すると書き込み禁止になります。
バッテリーリフレッシュ	-	バッテリーリフレッシュを行います。

「拡張設定」メニューの設定

設定項目	設定値	説明
USBレガシー機能	使用しない 使用する	「使用する」に設定するとUSBレガシー機能が有効になります。「使用しない」に設定すると、フロッピーディスクドライブからの起動ができなくなります。
リモート電源制御	使用しない 使用する	リモート電源制御を行うかどうかを設定します。「使用する」に設定すると、LANによって起動します。
Intel®SpeedStep™テクノロジー	使用する 使用しない	「使用する」を選択するとIntel®Speed StepテクノロジーがOSにより制御され、システムは最適化された性能で動作します。「使用しない」を選択すると、常にバッテリー最適化状態で動作します。
CPUパワーマネジメント	使用する 使用しない	通常は「使用する」でご使用ください。

「セキュリティ」メニューの設定

パスワードの設定について詳しくは、「セキュリティ機能」の「不正使用やデータの盗難を防ぐ(パスワード)」(p.39)をご覧ください。

設定項目	設定値	説明
スーパーバイザパスワード	-	スーパーバイザパスワードが設定されているかどうかを表示します。
ユーザパスワード	-	ユーザパスワードが設定されているかどうかを表示します。
スーパーバイザパスワードの設定	-	スーパーバイザパスワードを設定します。
ユーザパスワードの設定	-	ユーザパスワードを設定します。
パスワードチェック	セットアップ 常時	「常時」を選択すると、電源を入れたときとBIOSセットアップユーティリティを起動したときにパスワードの入力が必要になります。
HDDマスタパスワードの設定	-	内蔵ハードディスクドライブのマスタパスワードを設定します。
HDDユーザパスワードの設定	-	内蔵ハードディスクドライブのユーザパスワードを設定します。

「起動設定」メニューの設定

設定項目	設定値	説明
ロゴ表示	使用しない スキップ 使用する	ブート時の画面を設定します。 「スキップ」に設定したときにBIOSセットアップユーティリティを起動するには、電源を入れた後(DOWN)ボタンを押すことを何回か繰り返してください。
Networkブート	使用しない 使用する	ネットワークからの起動が必要な場合、「使用する」に設定します。 通常は「使用しない」の設定でお使いください。
第一起動デバイス	使用しない USB フロッピー IDE HDD USB CD/DVD ネットワーク ¹	最初に起動するドライブを設定します。
第二起動デバイス ²	使用しない USB フロッピー IDE HDD USB CD/DVD ネットワーク ¹	二番目に起動するドライブを設定します。
第三起動デバイス ²	使用しない USB フロッピー IDE HDD USB CD/DVD ネットワーク ¹	三番目に起動するドライブを設定します。

1: 「Networkブート」を「使用する」に設定した場合のみ表示されます。

2: 起動できるドライブが一台しかない場合は、第二起動デバイス以降は表示されません。

PART

2

トラブル解決Q&A

トラブルが起こったときは

トラブル事例の探し方

トラブルの解決事例は、このマニュアルや『オンラインマニュアル』など、いろいろな場所に記載されています。自分が直面しているのと同じ事例や似た症状を探してみましょう。

『オンラインマニュアル』を見る

『オンラインマニュアル』では、パソコン使用中に発生するさまざまなトラブル事例を紹介しています。パソコンが使えるときは、まず『オンラインマニュアル』を見てみましょう。



起動方法

添付の「アプリケーション CD-ROM/マニュアル CD-ROM」をCD/DVDドライブにセットして、「¥_manual¥index.htm」をダブルタップすると表示されます。

使い方

「トラブル解決Q&A」で、見たいカテゴリーを選び、表示された中から項目をタップしてください。対処法が表示されます。

◆メモ

『オンラインマニュアル』の内容を印刷する

『オンラインマニュアル』で表示した内容を紙に印刷しておく、後で読み返すときなどに便利です。インターネットエクスプローラの「ファイル」印刷」をタップして印刷できます。

チェック

『オンラインマニュアル』の項目の中には、タップすると、「ダイヤルアップ接続」が表示されるものがあります。これは、インターネットへ接続しようとしていることを表します。インターネットへ接続すると、インターネット接続サービス料金やアクセスポイントまでの電話料金(どちらもお客様負担)がかかります。説明を見終わったら、必ず回線を切断してください。一度インターネットに接続されると、自分で回線を切断しない限り、『オンラインマニュアル』を終了するまで、回線が接続されたままになり、料金がかかり続けます。注意してください。

Windowsのヘルプを見る

Windowsのヘルプでも、トラブル解決事例を見ることができます。

Windowsのヘルプで解決策を探してみましょう。

「スタート」「ヘルプとサポート」をタップすると、「ヘルプとサポート センター」が表示されます。

キーワードから探す

調べたいキーワードを入力しをタップすると、画面左に検索結果が表示されます。検索結果の中から知りたい項目をタップします。



「検索」欄の下の「検索オプションの設定」をタップすると、別の情報源から情報を検索できます。

「問題を解決する」で探す

「問題を解決する」をタップし、画面左に表示される項目の中から知りたい項目をタップします。

インターネットで解決方法を探す

パソコンがインターネットに接続できる状態なら、トラブル事例と豊富な解決方法が提供されているので便利です。

NECの企業向けパソコン総合関連サイト「NEC8番街」

「NEC8番街」はNECの企業向けパソコンの製品情報や各種サービスを提供するインターネットサイトです。

<http://nec8.com/>

「サポート情報」では、現象別やカテゴリで検索できるQ & Aなどのサービスや、ドライバの最新バージョン、修正・サポートプログラムの配布「ダウンロード」などが利用できます。

マイクロソフトサポート技術情報

このホームページでは、WindowsやWindowsの関連製品のQ & Aまたは、最新情報を参照することができます。

「マイクロソフトサポート技術情報」に接続するには、インターネットエクスプローラを起動してインターネットに接続し、「ヘルプ」をタップして表示されたメニューから「オンライン サポート」をタップします。

<http://support.microsoft.com/default.aspx?LN=JA>

こんなことも試してみよう

この本や『オンラインマニュアル』など、いろいろ調べたけれどトラブルが解決しないときは、次のことを試してみましょう。パソコンを正常な状態に戻せる場合があります。

チェックディスクを使う

チェックディスクを使うと、Windowsやアプリケーションの動作不良、または強制終了によるデータの書き損じなどのトラブルを検査、修復ができます。また、Windowsが異常終了した直後の再起動時には、自動的にチェックディスクが実行されることがあります。トラブルを予防するためには、毎日または週に1回など、定期的にチェックディスクの実行をおすすめします。



参照

チェックディスクについて Windowsのヘルプ

セーフモードでWindowsを起動する

セーフモードは、トラブルが発生したときに最小限のシステム環境でパソコンを起動できるWindowsの起動モードの1つです。

一度セーフモードでWindowsを起動し、チェックディスクなどのシステムツールでトラブルを解決して再起動すると、正常な状態のWindowsに戻ることがあります。



メモ

- ・ セーフモードでは、最小限の機能しか使えません。CDドライブ、プリンタなどは使えません。
- ・ セーフモードでは、解像度や配色が通常のWindowsとは異なります。

セーフモードで起動し、チェックディスクを実行する

パソコンの電源を入れ、「NEC」のロゴ画面が表示されたら、 ボタンを数回押しします。表示された「Windows拡張オプションメニュー」でアップボタン、ダウンボタンを押して「セーフモード」を選びEnterボタンを押します。次に使用しているOSが選択されていることを確認してEnterボタンを押します。



参照

セーフモードについて 「スタート」-「ヘルプとサポート」の「問題を解決する」-「起動と終了の問題」

セーフモードで起動したらチェックディスクを実行します。チェックディスク終了後、Windowsを再起動してください。問題がなければ、正常な状態に戻ります。

バックアップしたシステムやデータを復元する

Windowsの動作が不安定になったときは、システムファイルやアプリケーションデータにトラブルが起きていることが考えられます。このような場合には、システムやデータを復元することで正常な状態に戻る場合があります。



システムを復元する前に、大切なデータは必ずバックアップを取ってください。システムを復元することでデータが失われることがあります。

システムを復元する

システムの復元は、「スタート」>「すべてのプログラム」>「アクセサリ」>「システムツール」>「システムの復元」で行います。復元ポイントを選択できるので、パソコンが正常に動作していたときを選択して復元できます。復元ポイントは自動的に作成されませんが、自分で復元ポイントを作成しておくこともできます。



- ・ システムの復元を行うときは、あらかじめ起動中のアプリケーションを終了させてください。
- ・ お客様が作成したファイル(データファイル)は、「システムの復元」では復元することはできません。



システムの復元について「スタート」>「ヘルプとサポート」>「問題を解決する」

バックアップしたデータを復元する

あらかじめとっておいたバックアップデータを復元します。

自分でバックアップしたデータは、バックアップ元のフォルダにファイルを移動またはコピーしてください。

パソコンを再セットアップする

どうしてもパソコンが正常に動作しない、いろいろ試したが不安定な状態がなおらない、といった場合は、パソコンを再セットアップすることも検討してみてください。



再セットアップについて『再セットアップマニュアル』

パソコンが動かない

パソコンの状態がおかしい
(煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱い。またはパソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた場合)

すぐに電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取り外してから、ご購入元または『NEC PCあんしんサポートガイド』に記載のサポート窓口にご連絡してください。電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上スライドさせたままにしてください。電源を強制的に切ることができます。

❗ チェック

- ・安全に使うための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。必ず読んで注意事項を守ってください。
- ・ここで紹介する操作をすると、保存されていなかったデータは消えてしまいます。

Windowsが起動しない

原因	対策
Windowsが起動しない原因はさまざまなことが考えられます	「電源を入れたが」(p.103)をご覧ください、対策を行ってください。
BIOSの設定を変更している	BIOSの設定が正しいか確認してください。また、PART1の「BIOSセットアップユーティリティ」(p.88)をご覧ください、BIOSの設定を初期値(購入時の値)に戻してから、もう一度電源を入れなおしてください。 ❗ チェック コンパクトフラッシュカードを使用しているときは、BIOSセットアップユーティリティを使う前に、コンパクトフラッシュカードを必ず取り外してください。

使用中にパソコンが動かなくなった

原因

フリーズしている
(アプリケーションや
OS、周辺機器に異常が
発生している)

対策

アプリケーションや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやアプリケーションが反応しなくなることがあります(この状態をフリーズ、またはハングアップ、ストールといいます)。このような場合は、次の操作を行ってください。

チェック

次の操作を行うと、保存されていなかったデータは消えてしまいます。

異常が起きているアプリケーションを終了させる

- 1  ボタンを押す
「Windows タスクマネージャ」が表示されます。
- 2 「状態」欄に「応答なし」と表示されているタスク(アプリケーション)をタップして選択し、「タスクの終了」をタップする
異常を起こしているアプリケーションが強制的に終了されます。

この方法でアプリケーションが終了できなかったり、終了できてもWindowsが終了できなくなってしまうときは、「電源を切ろうとしたが」(p.107)をご覧ください。強制的にWindowsを終了させてください。

電源を入れたが

はじめて電源を入れたとき、セットアップの画面が表示されない

はじめてパソコンの電源を入れたときに、「Press Down to Run SETUP」というメッセージが表示された場合は、次の手順で操作してください。

- 1 ダウンボタンを押す
- 2 ディスプレイをタブレットPC用ペンでタップする
ソフトウェアキーボードが表示されます。
- 3 システム日付とシステム時刻を設定する
- 4 【F9】をタップする
- 5 「はい(Ok)」を選んでから【ENT】をタップする
- 6 【F10】をタップする
- 7 「はい(Ok)」を選んでから【ENT】をタップする

このあとは、『はじめにお読みください』の「セットアップ」の「Windowsのセットアップ」をご覧ください。セットアップを続けてください。

電源ランプが点灯しているのに画面が表示されない

原因	対策
液晶ディスプレイでは表示できない解像度に設定している	強制的にパソコンの電源を切ったあと、セーフモードでWindowsを起動し、解像度を設定しなおしてください。  参照 ・強制的に電源を切る方法 「強制的にパソコンの電源を切る」(p.107) ・セーフモードで起動する方法 「セーフモードでWindowsを起動する」(p.99) ・解像度を設定する方法 『オンラインマニュアル』「パソコンの設定」画面

電源ランプが点灯せず、パソコンが起動しない

原因	対策
バッテリーパックやACアダプタの接続が正しくできていない	『はじめにお読みください』の「電源の接続」をご覧ください。また、バッテリーパックやACアダプタの接続状態を確認してください。
バッテリー残量がなくなっている	バッテリーのみで使用中にバッテリー残量がなくなると、パソコンの電源は入らなくなります。ACアダプタを接続して使用するか、バッテリーを充電してから使用してください。 ACアダプタを接続してから電源を入れても電源ランプ(●)が点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。ご購入元に相談するか、『NEC PCあんしんサポートガイド』に記載のサポート窓口にご相談してください。

画面にメッセージが表示されて、Windowsが起動しない

原因	対策
フロッピーディスクがセットされている	いったん電源を切り、フロッピーディスクを取り出してからWindowsを起動してください。

「Checking file system on C:」と表示されている

原因	対策
前回終了時に正しい方法でWindowsを終了しなかった	画面の表示を見ながら操作を続けてください。この表示に続いて自動的にハードディスクがチェックされます。ハードディスクに異常がなければWindowsが起動します。ハードディスクに何らかの問題が発見されて、Windowsが正常に起動しなかったときは、画面の表示を見ながら操作してください。

「Windows 拡張オプションメニュー」が表示されている

原因	対策
前回終了時に正しい方法でWindowsを終了しなかった	「セーフモードWindowsで起動する」(p.99)をご覧ください。セーフモードでWindowsを起動後、正しい手順でWindowsを終了してからもう一度起動しなおしてください。

「Invalid system disk Replace the disk,...」、「Remove disks or other media. Press any key to restart」または「Operating System not found」と表示されている

原因	対策
フロッピーディスクがセットされている	いったん電源を切り、フロッピーディスクを取り出してからWindowsを起動してください。
ハードディスクがフォーマットされてしまったか、システムが壊れている可能性がある	この場合は再セットアップを行ってください。  参照 再セットアップするには『再セットアップマニュアル』

画面にカーソルが表示された

原因	対策
フロッピーディスクがセットされている	いったん電源を切り、フロッピーディスクを取り出してからWindowsを起動してください。システムの入っていないディスクがセットされていると、このように表示されることがあります。

ピーッというエラー音がしている

原因	対策
フロッピーディスクがセットされている	いったん電源を切り、フロッピーディスクを取り出してからWindowsを起動してください。セットされているディスクの種類によっては、ピーッというエラー音がすることがあります。
ハードディスクの障害の可能性もある	メッセージや症状を書きとめ、ご購入元に相談するか、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧になり、NEC フィールドイングに相談してください。

電源を切ろうとしたが

ここに記載の各手順を行ってもパソコンが動かない場合は、「電源を入れたが」(p.103)もご覧になり対策を行ってみてください。

パソコンの電源が切れない

原因	対策
フリーズしている (あるアプリケーション だけに異常が発生して いる)	フリーズしているアプリケーションを終了させてから Windowsを終了し、電源を切ってください。  参照 フリーズしているアプリケーションの終了方法 「使用中にパソコンが動かなくなった」(p.102)
フリーズしている (アプリケーションだけ でなく、Windowsも動 かなくなっている)	フリーズしているアプリケーションだけを終了できないときは、次の手順で強制的にWindowsを終了してください。 1  ボタンを押す 「Windows タスクマネージャ」が表示されます。 2 「シャットダウン」メニューの「コンピュータの電源を切る」をタップする しばらくすると自動的にWindowsが終了し、パソコンの電源が切れます。 上記の方法では電源が切れない場合は、次の手順で強制的にパソコンの電源を切ってください。 強制的にパソコンの電源を切る 1 電源スイッチ(⏻)を約4秒以上スライドさせたままにする 電源ランプ(🔌)が消え、パソコンの電源が切れます。  メモ 電源スイッチの操作で省電力状態になる設定にしている場合、電源スイッチを押しても電源が切れずに省電力状態になります(p.23)。このようなときは、一度電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを約4秒以上押スライドさせたままにして電源を切ってください。それでも電源が切れない場合は、ご購入元に相談するか、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧になり、NEC フィールディングに相談してください。

省電力機能

省電力機能に関連したQ&A情報は、『オンラインマニュアル』「トラブル解決Q&A」
「省電力機能」でも紹介しています。

復帰の操作をしても、画面が表示されない

原因	対策
液晶ディスプレイの電源が切れている	液晶ディスプレイをタブレットPC用ペンでタップすれば、正常に画面が復帰します。
コマンドプロンプトがアクティブになっている	ファンクションボタン + Escボタンを押してタスクを切り替えると、正常に表示されます。

上記の各手順を行っても正しく表示されない場合は、次の「復帰できない」の対策を行っててください。

復帰できない

原因	対策
Windows終了処理中に次の操作を行った ・省電力状態にした ・電源を切った	このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチ(⏻)で電源を入れたあとに何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。
休止状態中に周辺機器の取り付け / 取り外しを行った	パソコンの電源を切り、機器の構成を元に戻してから、もう一度パソコンの電源を入れてください。
アプリケーションや周辺機器がスタンバイ機能に対応していない	アプリケーションや周辺機器によっては、スタンバイ機能を使うとパソコンが正常に動作しなくなることがあります。このような場合は、スタンバイ状態にしないでください。
バッテリーの残量が少なくなっている	ACアダプタを接続してから、パソコンの電源を入れると復帰します。

復帰しようとしたら、Windowsのログオン画面が表示された

原因	対策
<p>復帰するときにWindowsのログオン画面が表示される設定になっている</p>	<p>省電力機能の設定によっては、この画面が表示されません。ユーザーを選択すると復帰して画面が表示されません。</p> <p>復帰するときに、Windowsのログオン画面が表示されないようにするには、「電源オプションのプロパティ」で「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」を無効に設定しておきます。設定方法について詳しくは、PART1の「省電力機能」の「省電力機能の設定」(p.27)をご覧ください。</p>

パスワード

「パスワードを忘れてしまいましたか？」と表示された

原因	対策
パスワードを間違えて入力した	パスワードを確認して、正しく入力しなおしてください。
正しくパスワードが入力できない状態になっている	画面に表示されているソフトウェアキーボードのキャップスロックキーがロックされていないか確認してください。ロックされている場合はキャップスロックキーをタップしてロックを解除してください。キャップスロックキーの状態がパスワード設定時と異なっていると、パスワードが正しく入力できないことがあります。パスワードを設定したときと同じ状態にしてからパスワードを入力しなおしてください。

パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れた場合

Windowsのパスワードを忘れてしまうと、パスワードの復元はできません。次のいずれかの操作で対処してください。

パスワードのヒントを見してみる

Windowsのログオン画面の「パスワード入力」欄の右にある「？」をタップして設定しておいたパスワードのヒントを確認し、自分の設定したパスワードを思い出してみてください。

別のユーザアカウントでログオンしてパスワードを設定しなおす

別のユーザアカウントが「コンピュータの管理者」権限を持つアカウントの場合、忘れてしまったユーザアカウントのパスワードを削除し、新しいパスワードを作成することができます。

「パスワードリセットディスク」を使って新しいパスワードを作成する



参照

「パスワードリセットディスク」について Windowsのヘルプ

BIOSで設定したパスワードを忘れた場合



参照

ユーザパスワード、スーパーバイザパスワード、ハードディスクのパスワード PART1の「セキュリティ機能」の「不正使用やデータの盗難を防ぐ(パスワード)」(p.39)

ユーザパスワード

ユーザパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動し、スーパーバイザパスワードをいったん解除してから、もう一度スーパーバイザパスワード、ユーザパスワードを設定してください。

スーパーバイザパスワード

スーパーバイザパスワードを忘れてしまった場合は、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください、NECフィールドینگに連絡してください。

- ・ パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・ パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたします。
- ・ パスワード解除処置を依頼される際には、次のものをすべて用意してください。
 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 2. 身分証明書(お客様ご自身を証明できるもの)
 3. 印鑑

パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要な事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ハードディスクのパスワード

ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、ロックの解除はできません。作成されたデータなどは二度と使用できなくなります。また、ハードディスクを有償で交換することになります。

バッテリー

バッテリーに関連したQ&A情報は、『オンラインマニュアル』「トラブル解決Q&A」
「バッテリー」でも紹介しています。

充電できない

原因	対策
バッテリーがすでにフル充電状態である	バッテリーがフル充電されていたり、フル充電に近い状態だと、ACアダプタを接続しても充電されないことがあります。
バッテリーパックが接触不良を起こしている	バッテリーパックが接触不良の場合は、バッテリー充電ランプ(□)が点滅します。一度バッテリーパックを取り外してから正しく取り付けなおしてください。

フル充電したのにバッテリー充電ランプが点灯する

原因	対策
自然放電を補充するため、自動的に充電を開始することがあります	異常ではありません。バッテリーは少しずつ自然放電しているので、それを補充するため、ACアダプタが接続されている場合は自動的に充電がはじまる場合があります。故障ではありません。

バッテリー充電ランプが点滅している

原因	対策
バッテリーが正しく取り付けられていないか、バッテリー寿命の可能性があり ます	電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取り外してからもう一度正しく取り付けなおしてください。バッテリーパックを取り付けなおしてもバッテリー充電ランプが点滅する場合は、バッテリーパックの寿命ですので、別売の新しいバッテリーパックと交換してください。

すぐにバッテリー切れになってしまう

原因	対策
バッテリーの性能が一時的に低下している	次の「バッテリーリフレッシュを行う」の手順でバッテリーリフレッシュを行ってください。一時的に低下したバッテリーの性能を回復させることができます。

バッテリーリフレッシュを行う

- 1 パソコンの電源を切る
- 2 バッテリーリフレッシュを行いたいバッテリーパックをパソコンに取り付ける
- 3 パソコンにACアダプタを接続し、電源コードをACコンセントに差し込む
バッテリー充電ランプ()が点滅している場合は、一度ACアダプタを取り外し、バッテリーパックを取り付けなおしてください。
- 4 バッテリーをフル充電する
バッテリーがフル充電されると、バッテリー充電ランプが消灯します。
- 5 BIOSセットアップユーティリティを起動する
- 6 電源コードのプラグをACコンセントから抜き、ACアダプタをパソコンから取り外す
- 7 「標準設定(Standard)」メニューの「バッテリーリフレッシュ(Battery Refresh)」を選んでから【ENT】をタップする
「バッテリーリフレッシュを実行しますか?(Do you want to refresh battery?)」と表示されます。
- 8 「はい(OK)」を選んで【ENT】をタップする
バッテリーリフレッシュがはじまります。

 チェック

バッテリーリフレッシュ中は、ACアダプタは接続しないでください。

バッテリーリフレッシュが完了すると、自動的にパソコンの電源が切れます。

バッテリーリフレッシュを中断するには

電源スイッチをスライドさせると、バッテリーリフレッシュを中断しパソコンの電源が切れます。電源スイッチをスライドさせる以外にも次の操作で中断することができます。次の操作で中断した場合は、Windowsが再起動します。

エスケープボタンを押す

Escボタンを押すと中断の確認をする画面が表示されます。アップボタン、ダウンボタンを使って「Cancel Battery Refresh」を選び、Enterボタンを押してください。バッテリーリフレッシュが中断して、Windowsが起動します。

 メモ

- ・ バッテリーリフレッシュ中に電源を切ろうとしたり、ACアダプタを接続した場合も中断を確認するメッセージが表示されます。バッテリーリフレッシュを続ける場合は、ACアダプタを取り外して「Continue Battery Refresh」を選んでください。
- ・ 電源スイッチを使って中断する場合は、電源スイッチを4秒以上スライドさせたままにしてください。

ディスプレイ

ディスプレイに関連したQ&A情報は、『オンラインマニュアル』『トラブル解決Q&A』『表示』でも紹介しています。

ディスプレイに何も表示されない

原因	対策
ディスプレイの設定が正しくない	「電源ランプが点灯しているのに画面が表示されない」(p.104)をご覧ください。ディスプレイの設定が正しいか確認してください。
DirectXに対応したアプリケーションを使っている	DirectXに対応したゲームなどのアプリケーションを実行すると、画面が正常に表示されなくなることがあります。アプリケーションのマニュアルをご覧ください。表示解像度を320×200ドット、640×400ドット以外に変更すると、正しく表示されるようになることがあります。
	 メモ 320×200ドット、640×400ドットの解像度にし に対応していないアプリケーションは、このパソコン では正常に動作しないことがあります。

画面が突然真っ暗になった

原因	対策
省電力機能がはたらいて、液晶ディスプレイの電源が切れたかスタンバイ状態になっている	電源管理の設定を確認してください。 「スタート」「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」「電源オプション」で「モニタの電源を切る」を設定している場合、液晶ディスプレイをタブレットPC用ペンでタップすると元の画面が表示されます。画面が表示されない場合は、電源ランプ(④)を確認してください。電源ランプが点滅している場合はスタンバイ状態になっています。復帰させると元の画面が表示されます。

解像度や表示色を変更できない

原因	対策
<p>「互換性の警告」の画面からWindowsを再起動した</p>	<p>「スタート」「コントロールパネル」「デスクトップの表示とテーマ」「画面」で解像度や表示色の設定を変えると、「互換性の警告」が表示されることがあります。「互換性の警告」で「新しい表示設定でコンピュータを再起動する」を選んで「OK」をタップします。Windowsを正常に再起動できない場合は、一度強制的にパソコンの電源を切った後、電源を入れなおしてください。</p> <p> 参照 強制的に電源を切る方法 「強制的にパソコンの電源を切る (p.107)」</p> <p> チェック 「互換性の警告」が表示されている場合は、「再起動せずに新しい色の設定を適用する」を選んで「OK」をタップしてからWindowsを再起動してください。</p>

CD/DVDドライブ

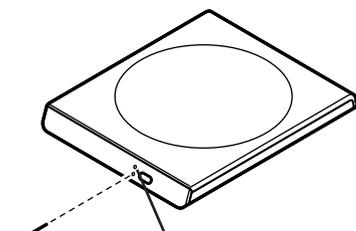
CD/DVDドライブに関連したQ&A情報は、『オンラインマニュアル』「トラブル解決Q&A」 「CD-ROM/CD-R/CD-RW」でも紹介しています。

ディスクが取り出せなくなった

原因	対策
電源が入っていない	パソコンの電源が入っていないと、CD/DVDドライブのイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。
アプリケーションの異常動作などにより、ディスクが取り出せなくなっている	パソコンの電源が入っているにもかかわらず、ディスクトレイが出てこなくなった場合は、アプリケーションの異常な動作などでディスクを取り出せなくなっていることが考えられます。このような場合は、次の「CD/DVDドライブのディスクトレイを強制的に開く」の手順で取り出してください。

CD/DVDドライブのディスクトレイを強制的に開く

- 1 イジェクトピンをCD/DVDドライブから取りはずす
- 2 非常時ディスク取り出し穴に、イジェクトピンを差し押し込む
ディスクトレイが少し飛び出します。



非常時ディスク取り出し穴

- 3 ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出す

周辺機器

周辺機器に関連したQ&A情報は、『オンラインマニュアル』「トラブル解決Q&A」『周辺機器』でも紹介しています。

周辺機器を取り付けたらパソコンが正常に動かなくなった

原因

取り付けた周辺機器のドライバが原因でパソコンが起動しなくなっている

対策

セーフモードでWindowsを起動し、デバイスマネージャでドライバを設定してください。

1 セーフモードで起動し、デバイスマネージャを開く



- ・セーフモードで起動する方法 「セーフモードでWindowsを起動する」(p.99)
- ・デバイスマネージャの開き方 「デバイスマネージャの開き方」(p.6)

2 新しく取り付けた周辺機器のアイコンをダブルタップし、「全般」タブの「デバイスの使用状況」欄で無効の設定にする

新しく取り付けた周辺機器のドライバが無効になります。

3 Windowsを再起動する



ドライバを無効にしてもWindowsが正常に起動しない場合は、新しく取り付けた周辺機器を取り外し、周辺機器のドライバを最新のものに更新してください。



最新のドライバは、周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateを行うと最新のドライバをダウンロードして更新することができます。Windows Updateは「スタート」>「すべてのプログラム」>「Windows Update」をタップして行います。

4 デバイスマネージャを開き、新しく取り付けた周辺機器のドライバを更新する

原因	対策
<p>割り込みレベルの設定が正しくない</p>	<p>新しく取り付けた周辺機器で使用する割り込みレベルがすでに使用済みであることが考えられます。デバイスマネージャで割り込みレベルが重なっていないか確認し、重なっている場合は設定を変更してください。</p> <p> 参照 デバイスマネージャの開き方 「デバイスマネージャの開き方」(p.6)</p> <p> メモ 上記のほかにも、「スタート」「ヘルプとサポート」をタップし、「問題を解決する」「ハードウェアおよびシステム デバイスの問題」の順にタップして、必要なトラブルシューティングを行ってみてください。</p>

周辺機器を取り付けたが正しく動作しない

原因	対策
<p>周辺機器がこのパソコンやWindows XPに対応していない</p>	<p>接続している周辺機器がこのパソコンやWindows XPに対応しているかを、周辺機器のマニュアルをご覧になり確認してください。</p>
<p>電源を入れる順序が正しくない</p>	<p>Windowsが起動してから周辺機器の電源を入れても、パソコン側で周辺機器を正しく認識しないことがあります。最初に周辺機器の電源を入れてからパソコンの電源を入れてください。</p> <p> メモ USB対応の周辺機器は、Windowsの起動後に電源を入れても正しく認識されます。</p>
<p>周辺機器が正しく接続されていない。または、周辺機器の設定が正しく行われていない</p>	<p>周辺機器によっては、設定スイッチの変更やドライバなどのインストールが必要な場合があります。周辺機器のマニュアルをご覧になり、設定を確認してください。</p>

原因	対策
<p>周辺機器が正常に動作していない</p>	<p>デバイスマネージャで取り付けた周辺機器のところに赤い「x」や黄色い「!」、緑色の「?」がついていないか確認してください。いずれかのマークがついている場合は、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。周辺機器のマニュアルやWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧になり、赤い「x」や黄色い「!」、緑色の「?」がつかないように設定しなおしてください。</p> <p> メモ</p> <p>上記のほかにも、「スタート」「ヘルプとサポート」をタップし、「問題を解決する」「ハードウェアおよびシステム デバイスの問題」の順にタップして、必要なトラブルシューティングを行ってみてください。</p>

周辺機器のドライバをインストールできない、ドライバを更新できない

原因	対策
<p>制限ユーザーでログオンしている</p>	<p>このパソコンを複数の人で使う設定にしている場合は、コンピュータの管理者に設定しているユーザーアカウントで周辺機器のドライバのインストール、更新を行う必要があります。いったんログオフし、コンピュータの管理者に設定しているユーザーアカウントでログオンしてから周辺機器のドライバをインストールしてください。</p>

接続した周辺機器のドライブ名がおかしい

原因	対策
<p>周辺機器を接続したまま省電力状態にした</p>	<p>お使いの周辺機器によっては、省電力状態にするとCDドライブのドライブ名が変更される場合があります。この場合は、Windowsを再起動してください。</p>

その他

フルスクリーンになったコマンドプロンプトを元に戻したい

原因	対策
	<p>次の手順で、元の画面サイズに戻せます。</p> <ol style="list-style-type: none">1 ファンクションボタンを2回押す2 タスクバーのコマンドプロンプトをプレス アンド ホールドし、表示されたメニューから「プロパティ」をタップする3 「表示オプション」の「ウィンドウ表示」をタップして、「OK」をタップする4 「現在のウィンドウだけに適用する」をタップして「OK」をタップする

ハードディスクの空き容量が少なく表示される

原因	対策
<p>ハードディスクの一部の領域に、再セットアップに必要なデータが格納されているためです</p>	<p>購入時には、ハードディスクの一部の領域に再セットアップに必要なデータが格納されているため、その分ハードディスクの空き容量が少なくなります。</p> <p> メモ</p> <p>「再セットアップ用CD-ROM」を使って再セットアップすることで、その領域を使用できるようになります。ただし、この場合は『LaVie/VersaPro Recovery System』を使った再セットアップはできなくなります。</p> <p> 参照</p> <p>「再セットアップ用CD-ROM」を使った再セットアップ 『再セットアップマニュアル』の「その他の再セットアップ」</p>

トラブルチェックシート

お問い合わせの前に

お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの構成やトラブルの具体的な状況をお知らせいただく必要があります。

このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、よりの確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート 1 あなたのパソコンの構成

ハードウェア

本体	
型名	
製造番号(パソコンの底部に記載されています)	
メモリの容量	MB(メガバイト)
メモリの容量を調べるには:「スタート」「マイコンピュータ」をプレス アンド ホールドし、表示されたメニューの「プロパティ」をタップしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウに「MB RAM」と表示されます。「MB RAM」という表示の「」がメモリの容量です。	
ハードディスクの容量	GB(ギガバイト)
ハードディスクの空き領域	GB(ギガバイト) MB(メガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには:「スタート」「マイコンピュータ」を開き、ハードディスクのアイコンをプレス アンド ホールドして、表示されるメニューの「プロパティ」をタップしてください。使用領域や空き領域が表示されます。	
周辺機器	
	品名・型名(メーカー名)
増設メモリ	
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
ネットワークボード	
コンパクトフラッシュカード	
その他の周辺機器	

ソフトウェア

OSの種類とバージョン
Windows XP Tablet PC Edition
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

(例:ワードパッドで入力したり印刷したりすると、突然止まってしまう。)

画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

(例:「このプログラムは不正な処理を行ったので強制終了されます。終了しない場合は、プログラムの製造元に連絡してください。」と頻繁に表示される。)

そのトラブルはどんなときに起きましたか？
「アプリケーション名」、「操作の状況」等を詳しく記入してください。

パソコンを起動するたびに起きる
そのアプリケーションを起動するたびに起きる
特定の操作を行うと起きる
はじめて起きた

その他に気づいたことがあれば書いてください。
トラブルに気付いた時期、その時に何か変わったことがなかったかなどについても記入してください。

(例:エラーメッセージが出ている状態で電源スイッチを操作し、何回か電源を切った。)

トラブルチェックシート3 修理の際に必要な情報

次の内容は、修理受付の際に確認させていただいている内容です。修理時のトラブルを無くすために、次の内容について、必ず記入してください。

本体とともに修理に出す周辺機器の構成が「トラブルチェックシート1」の構成と異なる場合は、記入してください。

周辺機器	品名・型名（メーカー名）
増設メモリ	
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
ネットワークボード	
コンパクトフラッシュカード	
その他の周辺機器	

修理時にソフトウェアの初期化(ハードディスクの交換を含む)をさせていただく場合があります。

ソフトウェアの初期化に同意していただけますか？

初期化に同意していただけない場合は、修理できないことがあります。

また、初期化に同意する/同意しないに関わらず、修理依頼されるときには、事前にお客様が作成されたデータをバックアップしておいてください。

初期化に同意する

初期化に同意しない

システム設定(BIOS設定)を変更している場合は、変更内容について記載してください。修理の際には、BIOS設定が工場出荷時の値に戻されます。BIOSの設定を変更されている場合は、必ず変更内容を書き留めておいてください。

PART

3

付録

仕様一覧

VA93J/GL

型名 ¹	VA93J/GL	
CPU	超低電圧版モバイル インテル® Pentium® プロセッサ-M (拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー搭載 ¹⁴)	
	クロック周波数	933MHz
キャッシュメモリ(1次/2次)	32KB(内蔵)/512KB(内蔵)	
システムバス	133MHz(メモリバス:133MHz)	
チップセット	Trident/ALi 社製 CyberALADDiN-T™	
表示機能 ¹¹	表示素子	10.4 型 TFT カラー液晶(XGA) デジタイザ内蔵
	ビデオ RAM	16MB(メインメモリ使用)
	グラフィック アクセラレータ ²	Trident/ALi 社製 CyberALADDiN-T™ (チップセットに 内蔵)(デュアルディスプレイ表示機能 ³ をサポート、AGP 対応)
	グラフィック表示 ⁷ (括弧内は 別売の外部モニ タ接続時 ⁵)	800×600ドット 1,024×768ドット
サウンド機能	PCM録音再生、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI[XG、XG- Lite、GM、GS演奏モード対応、DLS2 ¹⁶ 対応)、マイクノイ ズ除去機能 ¹⁷ 、3Dポジショナルサウンド、モノラルマイク ホン内蔵	
通信機能	LAN	標準内蔵(100BASE-TX/10BASE-Tに対応)
入力機器	タブレット	電磁誘導方式、タブレットPC用ペン標準添付(大/小) ¹⁵
インターフェイス	USB	USB(USB2.0 ¹³)×3
	ディスプレイ	ディスプレイ(アナログRGB、ミニD-sub15ピン)
	通信関連	RJ45(100BASE-TX/10BASE-T)LANコネクタ
	サウンド関連	ライン/ヘッドフォン共用出力(ステレオミニジャック)、 マイク入力(ステレオミニジャック)
	NEC専用電源I/F	3ピン×1
コンパクトフラッシュカードスロット	CF Type ×1スロット	
パワーマネジメント	自動または任意設定可能(CPU制御 ¹⁴ 、HDD制御、モニタ 節電機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能)	
電源	バッテリーパックまたはAC100~240V±10%、50/60Hz (ACアダプタ経由)[日本以外の国で使用の場合は別途AC コードが必要です。]	

型名	VA93J/GL
消費電力 ¹⁰ (最大構成時)	約12W(約50W)
エネルギー消費効率(ACアダプタ含む) ⁹	S区分0.0006
電波障害対策	VCCI ClassB
外形寸法(突起部含まず)	224(W)×297(D)×15~17.2 ⁸ (H)mm
質量(標準バッテリー含む) ¹²	約999g(無線LAN未搭載時)/約1.02kg(無線LAN搭載時)
温湿度条件	5~35、20~80%(但し結露無きこと)
インストール可能OS	Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition
主な添付品	ACアダプタ、ウォールマントプラグ、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM、再セットアップ用CD-ROM ⁴ 、印刷マニュアル類、保証書、ヘッドセットマイクロフォン(モノラル)、タブレットPC用ペン2本(大×1/小×1)、スタンド、キャリングケース

- 1 : セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については『はじめにお読みください』をご覧ください。
- 2 : Microsoft®社のDirectX®に対応。
- 3 : 本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイで異なるデスクトップ画面を表示する機能。横表示(外部ディスプレイ用コネクタが上)のみで利用可能。本機能を有効にすると、画面回転表示は自動的に解除され、横表示(外部ディスプレイ用コネクタが上)へ自動的に切り替わります。また、外付けのディスプレイ側の操作ができないため、USBマウスの使用を推奨します。
- 4 : 再セットアップ用CD-ROM(バックアップCD-ROM)を使用するには、セレクションメニューまたは別売の拡張機器で選択可能なCD-ROM、CD-R/RWが必要です。
- 5 : 本機の持つ解像度及び色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同時表示可能。拡大表示機能を使用しない状態は未サポートです。800×600ドットの解像度では、外付けディスプレイ全体には表示されません。また、外付けディスプレイのみの表示は出来ません。
- 6 : 1,677万色表示は、グラフィックアクセラレータのデザイン機能により実現。外付けディスプレイのみの表示は未サポートです。
- 7 : 表示素子(本体液晶ディスプレイ)より低い解像度を選択した場合、拡大表示機能により、液晶全体に表示可能。ただし、画面に一部黒枠表示が残ります。
- 8 : 最薄部~最厚部(ゴム足部の突起部を除く。)
- 9 : 「エネルギー消費効率」とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
- 10 : メモリ256MBにて測定。
- 11 : 縦画面表示に対応していないソフトウェアを使用した場合、正常に動作しない場合があります。この場合には、横画面でご使用ください。
- 12 : コンパクトフラッシュカード等は未装着。メモリ256MB搭載。タブレットPC用ペン(小)を格納して測定。
- 13 : 初期状態ではUSB2.0に設定されています。
- 14 : 電源の種類(AC電源、バッテリー)やシステム負荷に応じて動作性能を切り替える機能です。
- 15 : タブレット面に対して垂直方向から50度まで読み取り可能。
- 16 : DLSは「Downloadable Sounds」の略です。DLSを使うと、カスタム・サウンド・セットをSoundMAXシンセサイザにロードできます。カスタム・サウンド・セットは、通常、ミュージシャンが特殊なMIDIファイルで使用するために作成します。
- 17 : ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音を取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。この機能は、どのマイクでも使用できます。

以下の項目はお使いのモデルにより異なります。

型 名		VA93J/GL	
バックアップイメージ		再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納 ⁴⁴	
メモリ(最大メモリ ⁴¹ :512MB)	256MB	ECC無しSDRAM、PC133、256MB SO-DIMM x 1	
	512MB	ECC無しSDRAM、PC133、512MB SO-DIMM x 1	
通信機能	無線LAN(5GHz/2.4GHz) ^{51 52}	デュアルバンド無線LAN、通信速度 ⁵⁰ 最大54Mbps/11Mbps、5GHzでは暗号鍵長152ビット(128ビットがユーザ設定可能。2.4GHzでは暗号鍵長128ビット(104ビットがユーザ設定可能、24ビットはシステムで使用)、802.11a/b準拠	
マウス	USBマウス(ボール)	USB接続(ボール)タイプ(スクロール機能付)ケーブル長:約80cm)	
	USBマウス(オプティカル)	USB接続(光センサ)タイプ(スクロール機能付)ケーブル長:約80cm)	
記憶装置	FDD	USB接続、外付け、2モード(720KB ⁵³ /1.44MB)対応	
	ハードディスク ⁴⁶	20GB 約20GB、Ultra ATA-100/SMART機能対応	
	CD-ROM系 ⁴⁹	CD-R/RW ⁴²	USB接続、外付け、CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW書き込み:最大10倍速(バッファアンダーランエラー防止機能付)
		CD-ROM	USB接続、外付け、最大24倍速(最内周10倍速、最外周24倍速)
バッテリー ^{43 48}	駆動時間(JEITA ⁴⁷ 準拠)	約2.3 ~ 3.8時間(約3時間)	
	充電時間(ON時/OFF時)	約2.2/約2.2時間	

41: メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要があります。

42: CD-R書き込みツール「VERITAS RecordNow DX/DLA」が添付されます。

43: リチウムイオンバッテリー(M)。バッテリー駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって記載時間と異なる場合があります。バッテリーパックは消耗品です。

44: ハードディスク内の約2GBを再セットアップ領域として使用。

46: 10GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。

47: JEITAバッテリー動作時間測定法(Ver1.0)に基づいて測定したバッテリー駆動時間です。詳しい測定条件については、<http://nec8.com>をご覧ください。

48: 長時間駆動設定時、CPU動作性能はLOWモード。

49: コピーコントロールCDなど、一部の音楽CDの作成及び再生ができない場合があります。

50: IEEE802.11aまたはIEEE802.11bの規格による速度(理論値)であり、実効速度とは異なります。実効速度は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションOSなどの使用条件によって異なります。

51: 業界団体WECAの標準規格「WiFi™」認定を取得した無線LANモジュールを内蔵しております。ただし、デュアルバンド無線LAN5GHzは認定申請中です。(2003年1月現在)

52: 有線LANとの接続にはPK-WL005、またはPK-WL007が必要。

53: Windows® XP Professionalでは720KBでのフォーマットは不可。

携帯電話 / PHS接続機能

別売の携帯電話 / PHS接続ケーブルを別途購入された場合のみ使用できます。

個別仕様

種類	項目	規格
PHS (NTT ドコモ / アステル) 接続ケーブル	適用回線	移動電話回線(PHS後位16芯)
	通信速度	PIAFS 32Kデータ通信: 29.2Kbps(実効値)
		PIAFS 64Kデータ通信: 58.4Kbps(実効値)
PHS (DDI ボケット) 接続ケーブル	適用回線	移動電話回線(PHS後位12芯)
	通信速度	PIAFS 32Kデータ通信: 29.2Kbps(実効値)
		PIAFS 64Kデータ通信: 58.4Kbps(実効値)
携帯電話 (DoPa/PDC) 接続ケーブル	適用回線	移動電話回線(PDC5式携帯電話端末後位16芯)
	通信速度	9.6Kbps(データ通信)9.6Kbps(パケット通信) 28.8Kbps(パケット通信)
cdmaOne 接続ケーブル	適用回線	移動電話回線(CDMA方式携帯電話端末後位18芯)
	通信速度	14.4Kbps(データ通信) 6.4Kbps(パケット通信)

共通仕様

項目	規格
制御コマンド	AT コマンド
網制御機能	AA

: ATコマンドについては、『オンラインマニュアル』-「付録」-「ATコマンド一覧」をご覧ください。

内蔵LAN

規格概要

項目	規格
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX 使用時：100Mbps 10BASE-T 使用時：10Mbps
伝送路	100BASE-TX 使用時：UTP カテゴリ 5 10BASE-T 使用時：UTP カテゴリ 3 または 5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大 1024 台 / ネットワーク
ステーション間距離 ネットワーク経路長	100BASE-TX：最大約 200m / ステーション間 10BASE-T：最大約 500m / ステーション間 最大 100m / セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD 方式

：リピータの台数など、条件によって異なります。

デュアルバンドワイヤレスLAN

デュアルバンドワイヤレスLAN機能は、デュアルバンドワイヤレスLAN(無線LAN)モデルのみの機能です。

5GHzワイヤレスLAN

項目	規格
通信速度	54M/48M/36M/24M/18M/12M/6M (bps) (自動切替) ¹
準拠規格	IEEE802.11a (5GHz ワイヤレス LAN 標準プロトコル) ARIB STD-T71
変調方式	OFDM 方式
無線チャンネル	34ch、38ch、42ch、46ch
暗号化機能	64bit、128bit、152bit (WEP/AES 自動選択) ²
認証機能	IEEE802.1x ³
RF 周波数帯域	5GHz 帯域 (5.15 ~ 5.25GHz)

1：IEEE802.11a 規格による速度(理論値)であり、実効速度とは異なります。

実効速度は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、OSなどの使用条件によって異なります。

2：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bit、128bitです。

3：WindowsXPのみサポート

2.4GHzワイヤレスLAN

項目	規格
通信速度	11M/5.5M/2M/1M (bps) (自動切替) ¹
準拠規格	IEEE802.11b (2.4GHz ワイヤレス LAN 標準プロトコル) ARIB STD-T66
変調方式	DSSS 方式
無線チャンネル	1 ~ 13ch
暗号化機能	64bit、128bit (WEP) ²
認証機能	IEEE802.1x ³
RF 周波数帯域	2.4GHz 帯域 (2.4 ~ 2.4835GHz)

1: IEEE802.11b 規格による速度(理論値)であり、実効速度とは異なります。

実効速度は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、OSなどの使用条件によって異なります。

2: ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。

3: WindowsXPのみサポート

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスのご相談は、ご購入元、NEC フィールディングなどで承っています。NEC フィールディングについて詳しくは、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。



チェック

ご購入元、NEC フィールディングなどに本機の修理を依頼される際には、設定したパスワードは解除しておいてください。

NEC UltraCareSM International Service(海外保証サービス)

事前に登録されたお客様に対して、海外保証対象のパソコンにかぎり保証期間中に海外での修理サポートを行うサービスです。詳しくは、<http://www.ultracare.com>をご覧ください。

消耗品 / 消耗部品について

本製品には、消耗品と消耗部品が含まれており、長時間使用を継続した場合、早期の部品交換が必要となります。

消耗品と消耗部品は次の通りです。

種類	種類の内容説明	該当品または部品 (代表例)
消耗品	使用頻度や使用量により消耗します。本体の保証期間内に関わらず、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。	フロッピーディスク 媒体 CD-ROM 媒体 バッテリー 乾電池等
消耗部品	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗し修理ができなくなる部品です。本体の保証期間内であっても部品代が有料の場合があります。詳しくはNEC フィールディングにご相談ください。	液晶ディスプレイ、ファン、ハードディスク、マウス、CD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブ、フロッピーディスクドライブ

- ・ 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。
- ・ 記載部品は代表例です。機種により構成が異なります。詳しくは添付されているマニュアルの仕様一覧を参照ください。
- ・ 消耗部品の消耗時期は、1日8時間のご使用で約5年が目安です。
(ご使用環境により差があります。また、故障しないことを保証するものではありません。)

譲渡 / 廃棄について

このパソコンを譲渡するには

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件にしたがってください。また、譲渡を受けられた場合は、所定の手続きにしたがって、「お客様登録」を行ってください。

譲渡するお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)するときは、以下の条件を満たす必要があります。

本機に添付されるすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(このパソコンに添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)

チェック

- ・ パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。
- ・ ご登録されている製品を第三者に譲渡(売却)する場合は、121ware登録センター(TEL: 0120-469-121)までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けるお客様へ

NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」での登録をお願いします。
<http://121ware.com/my/>にアクセスし、「新規登録」で121コミュニケーションID(ログインID)を取得したあとに、保有商品情報の「新規・追加登録」で登録することができます。あるいは、お客様登録に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは封書でお送りください。

記載内容

本体型名および保証書番号(本機背面または本機底部に記載の型名および製造番号)
以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号
あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒183-8501 東京都府中市日新町1-10(NEC府中事業場)
NEC 121ware登録センター係行

このパソコンを廃棄するには

チェック

一度ハードディスクに記憶されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、ハードディスクをフォーマットしたりしても復元できる場合があります。データを消去したい場合には、市販のソフトなどを使うことをおすすめします。

本機の所有者が個人の場合(一般廃棄物として廃棄)廃棄方法に関しては、市町村等の各自治体にお問い合わせください(2002年10月現在)

本機の所有者が事業者の場合(産業廃棄物として廃棄)当社は資源有効利用促進法に基づき、積極的に当社の回収・リサイクルシステムにしたがって資源の有効利用につとめていますので、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。

URL <http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/renrakusaki.html>

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

パソコンを使っていくと、ハードディスクにお客様が作成、使用した重要なデータが記録されていきます。

そのため、このパソコンを譲渡または廃棄するときに、これらの重要なデータ内容を消去することが必要となります。ところが、ハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、実はそれほど簡単なことではありません。

一般に「データを消去する」という場合、次の操作を指します。

- ・ データを「ごみ箱」に捨てる
- ・ 「削除」操作を行う
- ・ 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ・ ソフトで初期化(フォーマット)する
- ・ 再セットアップを行い、工場出荷状態に戻す

これらの操作を行うと、パソコン内部では、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更され、データが見えなくなっているだけという状態になります。つまり、データは一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSから、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータはハードディスク内に残っているのです。

データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。悪意のある人によって、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様が廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、ハードディスクに記録された全データをお客様の責任において消去することが非常に重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス(共に有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

また、ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。詳しくは「このパソコンを譲渡するには」(p.133)をご覧ください。十分な確認を行ってください。

バッテリーパックのリサイクルについて

- ・ 本機はリチウムイオン電池を使用しています。
- ・ リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった電池、および使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、以下の拠点に設置した充電式電池回収BOXに入れてください。
 - 個人ユーザー: 充電式電池リサイクル協力店くらぶ
詳細は、電池工業会ホームページ(<http://www.baj.or.jp/>)をご覧ください。
 - 法人ユーザー: NEC法人向け二次電池持ち込み拠点
詳細は、NEC環境ホームページ(<http://www.nec.co.jp/japanese/profile/kan/index.html>)をご覧ください。
- ・ リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
 - 製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
 - (社)電池工業会小型二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
- ・ リサイクル時のご注意
 - 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
 - 外装カバー(被膜・チューブなど)をはがさないでください。
 - 電池を分解しないでください。



索 引

索引

英数

2.4GHzワイヤレスLAN	32,131
5GHzワイヤレスLAN	32,130
BIOSセットアップユーティリティ	88
CD-R/RWドライブ	57
CD-ROMドライブ	57
CD/DVDドライブ	57,117
DCコネクタ	15
LAN	29,130
LANコネクタ	15,29
NEC専用電源I/F	14,57
NEC フィールディング	132
Networkブート	93
Norton AntiVirus	46
PHS接続ケーブル	35
RecordNow DX	61
USBコネクタ	14,65
Windowsのヘルプ	97

あ行

アクセスランプ(本体)	14
アフターケア	132
異常が起きているアプリケーションを 終了させる	102
液晶ディスプレイ	14,75,115
音楽CDからのデジタル出力設定	61,81
音楽CDの再生	61

か行

解像度	75,116
外部ディスプレイコネクタ	15,76
外部ディスプレイ	76
外部マイクロフォン端子	14,80
画面回転機能	76
輝度	22,75
休止状態	23,26
休止状態からの復帰	27
強制的にパソコンの電源を切る	107
携帯電話 / PHS接続機能	35,129

携帯電話接続ケーブル	35
コンパクトフラッシュ カードスロット	14,68

さ行

サウンド機能	79
サスペンド	23
システムの復元	100
周辺機器	118
省電力機能	22,23,108
消耗品 / 消耗部品	132
譲渡	133
スーパーバイザパスワード	40,92
スタンバイ状態	23,25
スタンバイ状態からの復帰	26
スピーカ	15
スリープ状態	23
セーフモード	99
セキュリティ機能	39
セキュリティケーブル	39
節電	22
増設RAMボード	70

た行

タップ	49
ダブルタップ	49
タブレット	47
タブレットPC用ペン	14,47
チェックディスク	99
ディスプレイの切り替え	78
データ通信	37
データの復元	100
デバイス マネージャ	6,118
デュアルディスプレイ機能	78
デュアルバンドワイヤレスLAN	32
電源	16,101,103,107
電源スイッチ	14
電源ランプ	14,16,23
同時表示	77
盗難防止用ロック	15,39

な行

内蔵マイクロフォン	14
ネット簡単切替ツール	38
ネットワーク	30

は行

ハードディスク起動セクタへの ウイルス感染防止	46
ハードディスクのパスワード	43,92
廃棄	134
ハイバネーション	23
パスワード	39,92
バッテリー	112
バッテリーアンロック	15,21
バッテリー残量の確認	16
バッテリー充電ランプ	14,18
バッテリーの充電	18
バッテリーパック	14,20
バッテリーパックの交換	20
バッテリーパックのリサイクル	135
バッテリーリフレッシュ	19,91
非常時ディスク取り出し穴	117
表示色	75,116
復帰	26,108
フリーズ	102,107
フロッピーディスクドライブ	63
ヘッドフォン/オーディオ 出力端子	14,79
ヘッドフォンマイク	80
保守サービス	132
ボリュームコントロール	81

ま行

マイクロフォン	80
マウス	67
無線LAN ON/OFFスイッチ	14,34
メモリスロット	15,70

や行

ユーザパスワード	40,92
----------------	-------

ら行

レジューム	23
-------------	----

わ行

ワイヤレスランプ	14,33
割り込みレベル	119



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータには電気通信事業法第50条第1項の規定に基づき技術基準認証済みの通信機器が搭載されています。認証番号は次の通りです。

認証機器名	認証番号
デュアルバンド ワイヤレスLAN (無線LAN)	D02-1010JP

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリーバックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリーバックを取り付けている場合]

本装置にバッテリーバック実装時は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

レーザー安全基準について

このパソコンには、レーザーに関する安全基準（JIS-C-6802、IEC825）クラス1適合のCD/DVDドライブが添付されています。

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス「NEC UltraCareSM International Service」対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
<http://www.ultracare.com>
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindowsは本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROMは、本機のみでしかご利用になれません(詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください)。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Intel、インテル、Intel SpeedStep、Pentiumはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。

PS/2は、IBM社が所有している商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

FAR STONEは、台湾FAR STONE社の商標です。

VERITAS RecordNowおよびVERITAS DLAは、米国VERITAS Software Corp.の米国における登録商標です。

Symantec、Symantecロゴは、Symantec Corporationの登録商標であり、各製品名はSymantec Corporationの商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアなどの正式名称

Windows、 Windows XP	Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition operating system 日本語版
Windows Media Player	Microsoft® Windows Media™ Player 8.0
Windows Journal	Microsoft® Windows® Journal
インターネット エクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 6.0 Service Pack 1
Acrobat Reader	Adobe® Acrobat™ Reader
RecordNow DX	VERITAS RecordNow DX
Norton AntiVirus	Norton AntiVirus™ 2003

上記以外の正式名称について

上記以外のソフトウェアの正式名称につきましては、『オンラインマニュアル』はじめに『このマニュアルの表記について』をご覧ください。

©NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd. 2003

日本電気株式会社、NECカスタムテクニカ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。(ただし、海外保証サービス[NEC UltraCareSM International Service]対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施致します。)

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCareSM International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

* 1: NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd.



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。



ユーザーズマニュアル

PC98-**NX** SERIES

VersaPro

タブレットPC
(GLシリーズ)

初版 2003年1月

NEC

P

853-810602-055-A